

近世城跡に立地する近現代遺構について

内田 和伸（奈良文化財研究所）

1. はじめに

藩政期に地域の政治・軍事の拠点であった近世城跡は近代になって軍関係施設や官公庁施設、教育施設、都市基盤施設、公園などが立地し、大きく役割を変えた。そして、そこは現在でも文化遺産であると同時に城下町の中心部で様々な役割が期待される多義的な空間である。

筆者は全国の近世城跡に立地する近代建築遺構（土木遺産も含む）について平成7年¹⁾に現状を報告したことがある。これは史跡となっている近世城跡内の近代建築遺構が史跡整備に伴って撤去されるという報道があったことが契機であった。史跡という文化財にまだ文化財には指定されていない歴史的建造物が立地し、史跡整備のためにその遺構が撤去されるということに違和感を覚え、近世城跡に立地する近代建築遺構について現存するもののリストを作成し、分布や保存状況などを明らかにした上で、史跡整備と公園整備での城跡の整備手法の違いなどを検討し、保存の在り方をいくつか指摘したものである。その後、平成12年²⁾にはそのリストを更新し、概説した。

平成7年の初回調査と前後して、全国で近代化遺産調査や近代和風建築調査等が進められ、近代の建造物の文化財指定が進められてきた。また、平成8年には文化財保護法が改正され、指定制度を補完するものとして登録制度が導入され、現在では近現代の建造物の登録も進められて、緩やかな保護と活用も図られてきている。近現代の庭園や公園について

も建造物ほど数は多くはないが名勝としての指定や登録も進められてきた。

一方、後で詳述するように史跡整備に関わる計画手法において価値評価の視点にも近年は変化が見られるようになり、遺跡の履歴も軽視されることのないようになってきた。すなわち、近世の城跡では近代以降の土地の事績すなわち“遺跡の履歴”、あるいはその結果として残される事物すなわち“近現代遺構”も城跡の歴史として評価するようになりつつあるのである。

では、実際はどうであろうか。平成7年調査と同じ城跡を対象として追跡調査を行ったのでここで報告する。まず調査方法を述べ、近世城跡に立地した近現代遺構として現状の概要を示す。次に国の史跡に指定されている近世城跡について、史跡整備の計画の中でこれら近現代遺構がどのように扱われているかを整理した。最後に、今後の課題を記したいと思う。

2. 調査の方法

(1) 調査の対象

まず、対象とする近世城跡については、森山英一³⁾が『明治維新 廃城一覽』で表に取りまとめている340ヶ所を対象とした。これは慶応3年（1867）から明治4年（1871）までに存在した幕府、諸侯（維新後諸侯に列したものを含む）の城郭、陣屋並びに要害、藩庁等である。そのおのおのについて名称、所在地、城主、家格、石高等の他、明治6年（1873）における存城、廃城の別、沿革および明治維新後の

主要な変遷等が記されており、近世城跡の近現代を知る上での基本文献である。その後、森山氏は毎日新聞社発行の『城』において情報を更新し、さらに日本図書センター編では著者名は表れないが『図説日本城郭大事典』においても更新されており、『日本城郭史話』を含め、これらを基本の参考文献とした。

次に対象とする近現代遺構は、今回は建設後50年を経た、すなわち昭和42年(1967)までに建設され、歴史的価値あるいは文化財的価値を帯び始めている可能性のある近現代の建築や土木施設、庭園および公園とし、そのリストを作成した。平成7年の初回調査では『日本近代建築総覧』⁴⁾から現存するものをリストアップし、近代和風建築や一部の土木施設等も追加した。今回はこれらの遺構で現存を確認できたものに加え、各自治体に所在する文化財のリストや近代建築のリスト、近代和風建築のリストなどを参照し、建設後50年を経て現存が確認された建造物についてリストに加えることとした(表1)。

庭園・公園については文化庁が全国的に行った『近代の公園・庭園等に関する調査研究報告書』⁵⁾の成果を中心に、上述した対象となる城跡に立地するものを選んだ。なお、都市公園ではないが、同じ営造物公園である、国民公園の皇居外苑を加えた。建造物とは調査項目が異なる部分があるが、不動産の文化遺産という意味で建造物と記念物の違いを設けずに表1に加えた。

(2) 調査の内容と方法

これらの近現代遺構について平成7年調査と同様に8つの項目を設けて調査した。調査項目は①対象施設がどの城跡のどの部分に位置するか(表1の城跡における位置)、②対象施設の名称(表1の現施設名)、③建設当初の名称やその後の変遷等(表1の建設後の変遷)、④施設の建設時の用途(表1の分類)、⑤施設の設計者(表1の設計者)、⑥施設の建設年または開設年(表1の建設年(開設年))、⑦対象施設の構造(表1の構造)、⑧対象施設がどこ(国、都道府県、市町村)の文化財の指定や登録、

景観上の位置づけ等を受けているか(表1の文化財等)、⑨当該城跡がどこ(国、都道府県、市町村)の史跡指定を受け、対象施設が指定地内に入るか否か(表1の史跡指定状況)、⑩当該城跡に立地する城跡公園の名称およびその対象施設が公園区域内に入るか否か(表1の城跡公園名)、とした。

調査方法を補足すると、①の現施設が城跡のどの部分に位置するかについては、施設の位置が、幕末を中心とした時期の縄張り図や縄張りを復原した地形図などのどこに位置するかを『日本城郭体系』⁶⁾などを参考に調べた。④の現施設が建設当初どのような用途として建設されたかについては、1産業施設、2軍関係施設、3教育施設、4都市基盤施設、5官公庁施設、6宗教施設、7文化観光施設、8運動施設、9住宅、10庭園、11公園、12その他とした。説明の都合上、表1はこの分類番号の順とし、北から都道府県別に表示した。

調査項目のいずれも文献やインターネットでの情報収集を行ったが、判断のつかないものについては必要に応じて各自治体の担当者に確認をさせて頂いたものもある。

3. 近世城跡に立地する近現代遺構の現状について

(1) 分布の状況

対象となる近現代遺構は、対象となる近世城跡340ヶ所のうちの約1/3、122ヶ所の城跡で確認でき、全体で565件であった(表1)。平成7年報告では31城跡で92件であった。この22年の間に失われた遺構もあるが、分布する城跡の数、遺構の数ともに以前より増加した。これは今回の調査が対象を50年前までに建設されたものまで広げたこと、この間に遺構の調査や保護が進んだこと、庭園や公園も加えたことが上げられる。また、近年は情報化が進みインターネットを使つての所在確認が容易になったことも少なくない。なお、文化財としての指定や登録の行われているものは、主屋や離れなど棟ごとに記している場合が多いが、未指定・未登録の神社建築

などでは本殿と拝殿など区別をしていないものも含まれており、軒数にすると全体の件数が増すことが考えられる。

一つの城跡における遺構の数は1件からであり、多い所では江戸城跡・小田原城跡の15件、大坂17件、最も多いところで伊賀上野城跡の21件まで様々であった。

遺構の城跡における位置については、多くは旧来の曲輪の中に納まるが、堀を埋めてその地盤の上に立地したものも見られる。これには江戸城跡蛤濠北延長部の堀跡に立地する皇宮警察本部庁舎、久留米城跡外堀跡上に立地する明治44年陸軍大演習時の明治天皇御在所(久留米大本営)の建物および庭園、などがある。

(2) 保存・活用の状況

保存状況は次のように大別できる。

- ① 本来の機能を維持しているもの
- ② 本来の機能を失い、廃墟となっているもの
- ③ 転用されて利用されているもの
- ④ 文化財として保存・活用されているもの（調査項目は表1の文化財等）
- ⑤ 文化財以外の価値づけのなされているもの（同上）

①では、水戸城跡、上野城跡、大阪城跡、和歌山城跡の配水池や膳所城跡の浄水場といった水道施設があげられる。建造物では特に宗教施設の場合に転用されずに本来の機能が維持されるものが少なくない。教育施設では学校名の変更があっても教育施設として利用されているものが少なくない。

②では、後述する上田城跡二の丸東側の空堀跡に敷設され、廃線となった上田交通（現上田電鉄）真田傍陽線の公会堂下駅プラットホームがこれにあたる。

③については、現存する建築遺構でこれに当たるものは少なくない。軍関係施設では戦後の軍の廃止により、建物は転用される中で、博物館や美術館になったものも見られる。屋外施設では、後述する郡山城跡の柳沢文庫庭園内の四阿周囲の菱形の舗装が

これに当たる。

④の文化財としての価値づけのなされたものは、建造物で、国指定の重要文化財26件、都道府県指定の文化財12件、市町村指定の文化財11件、登録文化財72件であった。

庭園では国指定名勝が岸和田城跡の岸和田城庭園(八陣の庭)、高松城跡の披雲閣庭園の2件、県指定名勝が金沢城跡の尾山神社庭園の1件、国の登録記念物が日出城跡の旧清成博愛別邸庭園の1件であった。

公園では国および都道府県指定の名勝はなく、市指定名勝のみの2件であった。これについては後述する。

⑤では、文化財ではない価値づけとして、法律に基づく景観重要建造物、歴史的風致形成建造物、景観条例等に基づく景観形成重要建造物、都市景観重要建造物、景観遺産、法律や条例には基づかないものとして、経済産業省が施策として認定している近代化産業遺産、土木学会関東支部認定の関東の土木遺産、DOCOMOMO JAPANの日本の近代建築が見られた。また、公園を対象とするものでは日本の歴史公園100選等がある。

「景観重要建造物」は、平成16年に制定された景観法に基づき、景観計画に定められた指定の方針に則して、景観計画区域内の良好な景観形成に重要な建造物（これと一体となって良好な景観を形成している土地その他の物件を含む）で、その優れた外観を保全することが地域の景観の格となる建造物を景観行政団体の長が指定するもので、彦根市、高崎市で見られた。彦根城跡の滋賀大学陵水会館、高崎城跡の群馬音楽センターが指定されている。

「歴史的風致形成建造物」は、平成20年に施行された「歴史まちづくり法（正式名称：地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律）」に基づき認定された歴史的風致維持向上計画において記載されている重点区域内の歴史的な建造物であって、地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のために保存を図る必要があると認めら

れるものについて、首長が建造物の所有者及び教育委員会の意見を聞いて指定するものである。白河市が小峰城跡の林家住宅建造物群を、松江市が松江城跡の興雲閣をそれぞれ指定している。

「景観形成重要建造物」は兵庫県で見られたもので、兵庫県の「景観の形成等に関する条例」に基づき、地域の景観の形成に重要な役割を果たしている建造物又は樹木を、それぞれ「景観形成重要建造物」、「景観形成重要樹木」として指定する制度である。小野陣屋跡の旧小野市立小野小学校講堂が指定されている。

「都市景観重要建築物」等の指定物件は都市景観条例に基づき、都市景観の形成上重要な価値があると認める建築物、工作物その他の物件又は樹木若しくは樹林を都市景観重要建築物、都市景観重要工作物又は都市景観保存樹若しくは都市景観保存樹林（「都市景観重要建築物等」として総称する。）として指定しているものである。姫路市が姫路城跡の旧通信省姫路電信局別館を指定している。

「景観遺産」とは、大垣市が市の景観条例に基づき大垣市の近代化を支えた産業・文化等の近代遺産や、宿場町の歴史・文化の蓄積を感じさせる建造物をはじめとする「後世に伝承すべき景観を有する建造物等」で、歴史・文化遺産、近代遺産、現代遺産、風景遺産に該当するものを所有者等の同意を得たうえで指定するものであり、公募により選定されたものである。大垣市は大垣城跡の復元天守を指定している。

「近代化産業遺産」は経済産業省が認定している文化遺産の分類で、66件のストーリーに基づく近代化産業遺産群とそれらの構成要素575件が認定されており、山形城跡の旧山形市立第一小学校校舎・門柱および柵が入っている。

ドコモモ（DOCOMOMO=Documentation and Conservation of buildings, sites and neighborhoods of the Modern Movement）は、20世紀の建築における重要な潮流であったモダン・ムーブメントにかかわる建物と環境形成の記録調査および保存のため

の国際組織である。その日本支部DOCOMOMO JAPANが1999年に日本の近代建築20選を選定し、2015年には184件を選定しているのが「日本の近代建築」である。前述の高崎城跡の群馬音楽センターが指定されている。

「日本の歴史公園100選」は、平成18年に都市公園法施行50周年等事業実行委員会によって選定された歴史公園で、後の追加も含めて250件が選定されており、調査対象では65件が選定されている。

筆者は平成7年の報告で、「市民が愛着を持っているものについては、文化財としての保存はできなくとも（中略）都市デザインにおけるランドマークや歴史的景観の構成要素として捉え、（中略）史跡指定地内であっても地域にとって必要な遺構は地域が積極的に保存していくことが必要だと考えられる。」と記したが、現在は、景観法や歴史まちづくり法、各自治体の景観条例等で建造物単体の保存がなされるようになってきており、さらに様々な団体による価値づけもなされてきていることが確認できた。

（3）当初の用途別遺構の現況

現在の遺構は転用され、建設当初とは用途が異なる場合が少なくないが、ここでは建設当初の用途を12に分類したので、その分類ごとに分布や文化財の指定等の状況などの概要を見よう。なお、これらの遺構の内、建造物の建築史的特徴などについては本書掲載の福嶋論文が詳しいので参照されたい。また、庭園・公園については平成7年調査時には対象としなかったので少し詳しく触れようと思う。

1) 産業施設

産業施設は25件、全体の4.4%であった。一部、店舗併設の民家も含まれている。

重要文化財となっているものは山形城跡の旧済生館本館（移築）、県指定文化財は館林城跡の旧上毛モスリン株式会社事務所（移築）、松江城跡の興雲閣、市指定文化財は鶴ヶ岡城跡の大宝館、登録文化財は松本城跡の松本館旧館などがある。

鶴ヶ岡城跡の大宝館、松江城跡の興雲閣は物産等

表1 近世城郭に設置された近代施設

分類 (建設当初時) 1:産業施設 / 2:軍関係施設 / 3:教育施設 / 4:都市基盤施設 / 5:公官庁施設 / 6:宗教施設 / 7:文化観光施設 / 8:運動施設 / 9:住宅 / 10:庭園 / 11:公園 / 12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
山形県	山形市	山形城	二の丸	山形市立郷土館	M11竣工旧済生館本館→M44一時期山形市役所臨時庁舎→S44現在地へ移築→S46山形市郷土館	1	筒井明俊	M11	木4	国重文	国史跡内	霞城公園内
山形県	山形市	山形城	三の丸	理容仲野	S4	1	不詳	S4	木2カ	未指定	国史跡外	霞城公園外
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城	二の丸	大宝館	T4物産陳列所・図書館→S26市立図書館→現在、郷土人物資料展示施設	1	小林昌徳	T4	木2	市指定	国史跡外	鶴岡公園内
群馬県	館林市	館林城	稲荷郭	館林市第二資料館	二の丸跡にM43上毛モスリン株式会社事務所として竣工→S54現在地に曳家	1	不詳	M43	木2	県指定	市史跡外	無
群馬県	伊勢崎市	伊勢崎陣屋	二の丸	いせさき明治館	M45竣工今村医院→S19頃伊勢崎保健所→S22黒羽根内科医院→H14伊勢崎市所有、現在地に曳家	1	阿部石松	M45	木2	市指定	未指定	無
群馬県	前橋市	前橋城	北曲輪	松山医院	T14竣工	1	小林武四郎	T14	木3	未指定	未指定	無
富山県	富山市	富山城	三の丸	富山第一銀行旧本店	S21富山合同無尽として竣工→S26増築、富山相互銀行→H元現名称→H27新本店の竣工により機能移転	1	佐藤工業	S21	RC3カ	未指定	未指定	富山城址公園外
福井県	福井市	福井城	三の丸	三井住友信託銀行福井支店	S9竣工福井信託銀行	1	辻岡通	S9	RC3	未指定	未指定	無
長野県	松本市	松本城	惣堀	松本館旧館	S8頃	1	不詳	S8頃	木2	登録	国史跡外	松本城公園外
長野県	松本市	松本城	惣堀	松本館便所棟	S8頃	1	不詳	S8頃	木1	登録	国史跡外	松本城公園外
長野県	松本市	松本城	三の丸	松本丸の内ホテル(旧第一勧業銀行松本支店)	S12竣工日本勧業銀行松本支店→S46第一勧業銀行松本支店→H14みずほ銀行松本支店→H15レストラン「アルモニービアン」	1	不詳	S12	RC3	登録	国史跡外	松本城公園外
長野県	松本市	松本城	三の丸	日本銀行松本支店	T3本町に開設→S33現在地に移転新築	1	不詳	S33	RC2カ	未指定	国史跡外	松本城公園外
長野県	松本市	松本城	三の丸	塩井乃湯	M初創業→T期に現建物竣工	1	不詳	T期	木2	未指定	国史跡外	松本城公園外
長野県	上田市	上田城	二の丸	旧伝染病院事務棟	T6設立	1	不詳	T6	木1	未指定	国史跡内	上田城跡公園内
長野県	諏訪市	高島城	三の丸	丸高蔵店舗	T前期竣工→H8改修	1	不詳	T前期	木2	登録	市史跡外	高島公園外
長野県	諏訪市	高島城	三の丸	丸高蔵吉沢蔵	T前期	1	不詳	T前期	土蔵2	登録	市史跡外	高島公園外
長野県	諏訪市	高島城	三の丸	丸高蔵鵜沢蔵	T前期	1	不詳	T前期	土蔵3	登録	市史跡外	高島公園外
大阪府	岸和田市	岸和田城	三の曲輪	岸和田市立自泉会館(自泉館)	寺田財閥の倶楽部S7竣工→S18より市所有	1	渡辺節	S7	RC2	登録	府史跡外	千亀利公園外
兵庫県	たつの市	龍野城	不明	うすくち龍野醤油資料館別館	T13龍野醤油同業組合事務所→S54より現施設	1	不詳	T13	木2	登録	未指定	無
兵庫県	たつの市	龍野城	不明	うすくち龍野醤油資料館別館 旧龍野醤油同業組合醸造工場	T14竣工→S54より現施設カ	1	不詳	T14	木1	登録	未指定	無
奈良県	大和郡山市	郡山城	毘沙門郭	柳沢文庫庭園	明治期完成金魚養魚池	1	不詳	明治期	コンクリート	未指定	県史跡内	郡山城跡公園外
鳥取県	松江	松江城	二之丸上の段	興雲閣	M36松江市工芸品陳列所として竣工→S48松江郷土館→H27より現施設	1	不詳	M36	木2	県指定・市歴史的風致形成建造物	国史跡内	松江城山公園内
岡山県	岡山市	岡山城	二の丸	ルネスホール	T11竣工日本銀行岡山支店本部→H17より現施設	1	長野宇平治	T11	レンガ・石造2	登録	国史跡外	鳥城公園外
大分県	中津市	中津城	三の丸	汐湯	T期に三階建の建物が竣工→S30代に二階建の建物が竣工	1	加来政一	T期、S30年代	木3・2	未指定	未指定	無

分類(建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:官公庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
鹿児島県	鹿児島市	鹿児島城	二の丸	鹿児島県立博物館考古資料館	M16興業館として竣工→物産陳列所→商工奨励館→S28現名称	1	不詳	M16	石2	登録	県史跡 外	城山公園 外
青森県	弘前市	弘前城	三の曲輪	第八師団門柱	第八師団兵器部か→戦後青森師範学校	2	不詳	不詳	レンガ・コンクリート	未指定	国史跡 内	弘前公園 内
東京都	千代田区	江戸城	北之丸	国立近代美術館工芸館	M43竣工近衛師団司令部庁舎→S52現名称として開館	2	田村鎮	M43	レンガ造2	国重文	国特別史跡 外	北の丸公園 内
新潟県	新発田市	新発田城	二の丸	白壁兵舎広報史料館	M7竣工 陸軍東京鎮台歩兵第8番大隊分屯営兵舎→S21在日米軍や新潟青年師範学校として利用される→S29陸上自衛隊に移管→H26現施設として開館	2	不詳	M7	木2	未指定	市史跡 外	新発田城址公園 内
石川県	金沢市	金沢城	本丸土塁	旧陸軍弾薬庫隧道	不詳	2	不詳	不詳	RC・レンガ	未指定	国史跡 内	金沢城公園 内
石川県	金沢市	金沢城	二の丸	旧第六旅団司令部	M31第六旅団司令部として竣工→S24金沢大学教育解放センター管理棟→H7金沢城公園内の施設	2	不詳	M31	木1	未指定	国史跡 内	金沢城公園 内
愛知県	名古屋市中	名古屋城	御深井丸	乃木倉庫	M後竣工	2	不詳	M後期	レンガ1	登録	国特別史跡 内	名城公園 内
大阪府	大阪市	大坂城	本丸	旧大阪市立博物館	S6 陸軍第四師団司令部庁舎として竣工→戦後GHQ接収→S23接収解除→S24大阪市警視庁本部→S30大阪府警本部→S33大阪市所有→S35改修、大阪市立博物館→S37改修→H13閉館、現在未使用	2	陸軍第四師団経理部	S6	RC3地下1塔屋付	未指定	国特別史跡 内	大阪城公園 内
大阪府	大阪市	大坂城	本丸	桜門	M20陸軍省が再建	2	不詳	M20	木1	国重文	国特別史跡 内	大阪城公園 内
大阪府	大阪市	大坂城	本丸	防空壕跡	S20中部軍管区司令部防空壕	2	不詳	S20	素掘	未指定	国特別史跡 内	大阪城公園 内
大阪府	大阪市	大坂城	二の丸	大阪城公園城内詰所正門および堀	陸軍大阪府成刑務所正門および堀→大阪砲兵支隊門および堀	2	不詳	不明	レンガ造	未指定	国特別史跡 内	大阪城公園 内
大阪府	大阪市	大坂城	仕切曲輪	旧大阪砲兵工廠表門と堀	大阪砲兵工廠表門と堀として竣工	2	不詳	不明	石積レンガ積造	未指定	国特別史跡 内	大阪城公園 内
大阪府	大阪市	大坂城	仕切曲輪	旧大阪砲兵工廠化学分析場	T8竣工→戦後大阪大学工学部校舎→S39よりH10まで自衛隊大阪地方連絡部→現在は不使用	2	置塩章(砲兵工廠建築部)	T8	レンガ2地下1	未指定	国特別史跡 内	大阪城公園 外
大阪府	大阪市	大坂城	仕切曲輪	旧大阪砲兵工廠守衛舎	明治初頃カ	2	不詳	明治初頃カ	レンガ1	未指定	国特別史跡 内	大阪城公園 外
大阪府	大阪市	大坂城	御蔵曲輪	旧大阪砲兵工廠水門	M4竣工	2	不詳	M4	石造	未指定	国特別史跡 外	大阪城公園 内
大阪府	高槻市	高槻城	本丸	旧陸軍工兵第四聯隊門柱(1本)	不明	2	不詳	不明	レンガ造	未指定	府史跡 範囲なし	城跡公園 外
大阪府	高槻市	高槻城	本丸	旧陸軍工兵第四聯隊門柱(1対)	不明	2	不詳	不明	レンガ造	未指定	府史跡 範囲なし	城跡公園 外
大阪府	高槻市	高槻城	本丸	旧陸軍工兵第四聯隊歩哨舎	不明	2	不詳	不明	RC1	未指定	府史跡 範囲なし	城跡公園 外
兵庫県	姫路市	姫路城	中曲輪	姫路市立美術館	M38第十師団兵器庫→T2増築→戦後姫路市庁舎→S57より現施設	2	宮本平治・井田熊吉(陸軍省技官)	M38	レンガ2	登録	国特別史跡 内	姫路公園 内
兵庫県	姫路市	姫路城	中曲輪	カトリック淳心会本部	T13頃陸軍第10師団司令官官邸として竣工	2	不詳	T13頃	木1	未指定	国特別史跡 内	姫路公園 外
広島県	広島市	広島城	本丸上段	広島大本営跡	日清戦争時大本営	2	不詳	不明	石積	未指定	国史跡 内	中央公園 内
広島県	広島市	広島城	本丸上段	昭憲皇太后御在所跡	日清戦争時大本営関係施設	2	不詳	不明	礎石のみ	未指定	国史跡 内	中央公園 内
広島県	広島市	広島城	本丸下段	中国軍管区司令部跡	日清戦争時大本営関係施設	2	不詳	不明	半地下RC1	未指定	国史跡 内	中央公園 内
福岡県	久留米市	久留米城	外郭	久留米大本営	M44陸軍大演習時の明治天皇行在所	2	不詳	M44	木1	未指定	県史跡 外	無

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
福岡県	北九州市	小倉城	本丸	第十二師団司令部門柱	M31竣工	2	不詳	M31	レンガ積	未指定	未指定	勝山公園 内
沖縄県	那覇市	首里城	地下	陸軍第32軍司令部壕	S20頃	2	不詳	S20頃	素掘・RC	未指定	国史跡 内	首里城公園 内
秋田県	秋田市	久保田城	三の丸	国学館高等学校校舎	S41敬愛学園高等学校新校舎竣工→S54国学館高等学校に改称→H24耐震改修工事完成	3	不詳	S41	RC 6カ	未指定	未指定	千秋公園 外
山形県	山形市	山形城	三の丸	山形まなび館	山形市立第一小学校校舎	3	秦・伊藤設計事務所	S 2	RC 3	登録近代化産業遺産	国史跡 外	霞城公園 外
山形県	山形市	山形城	三の丸	山形まなび館 門柱及び柵	山形市立第一小学校門柱及び柵	3	秦・伊藤設計事務所	S 2	RC1	登録近代化産業遺産	国史跡 外	霞城公園 外
群馬県	沼田市	沼田城	保科郭	旧沼田小学校講堂記念体育館	T元沼田尋常高等小学校竣工→S48現在地へ移築	3	不詳	T元	木 1	未指定	市史跡 内	沼田城址公園 内
千葉県	市原市	鶴牧陣屋	陣屋地(居館)	姉崎小学校第一校舎	S37竣工	3	不詳	S37	RC 2カ	未指定	未指定	無
神奈川県	小田原市	小田原城	二の丸	小田原城歴史見聞館	S 4 小田原第2尋常小学校の講堂として竣工→城内小学校講堂→三の丸小学校の講堂→H10より現施設	3	不詳	S 4	木 1	未指定	国史跡 内	小田原城址公園 内
石川県	小松市	小松城	二の丸	小松高等学校記念館	M32石川県立第四中学校校舎→M40県立小松中学校→S23県立小松高等学校→S34記念館図書館→H11改修	3	不詳	M32	木 2	未指定	市史跡 外	芦城公園 外
長野県	佐久市	龍岡城	南東の稜堡	佐久市立田口小学校体育館	S30竣工→H21耐震補強工事	3	不詳	S30	Sカ	未指定	国史跡 内	無
長野県	飯田市	飯田城	三の丸	飯田市立追手町小学校校舎	S 4 竣工	3	不詳	S 4	RC 3	登録	未指定	無
長野県	飯田市	飯田城	三の丸	飯田市立追手町小学校講堂	S 6 竣工	3	不詳	S 6	S 1	登録	未指定	無
静岡県	静岡市	駿府城	三の丸	静岡大学教育学部附属静岡中学校校舎	S31竣工→H21耐震補強工事	3	不詳	S31	S 3	未指定	未指定	駿府城公園 外
愛知県	刈谷市	刈谷城	三の丸	刈谷市郷土資料館	S 3 亀城小学校本館として竣工→S55現施設	3	大中肇	S 3	RC 2	登録	未指定	亀城公園 外
三重県	松阪市	松坂城	三の丸	三重県立松阪工業高等学校資料館棟	M41三重県立工業学校製図室→S24松阪北高等学校→S27松阪工業高等学校	3	不詳	M41	木 1	市指定	国史跡 外	松阪公園 外
三重県	度会郡玉城町	田丸城	三の丸	玉城中学校校舎	S38竣工	3	不詳	S38	RC 3	未指定	県史跡 内	城山公園 外
三重県	鳥羽市	鳥羽城	本丸	旧鳥羽小学校校舎	S 4 竣工→H20小学校移設閉鎖	3	不詳	S 4	RC 3	登録	県史跡 内	無
三重県	伊賀市	上野城	扇之芝	三重県立上野高等学校明治校舎	M33竣工三重県第三尋常中学校校舎	3	不詳	M33	木 1	県指定	国史跡 外	上野公園 外
三重県	伊賀市	上野城	扇之芝	三重県立上野高等学校校門	M34竣工三重県第三尋常中学校校門	3	不詳	M33	石	県指定	国史跡 外	上野公園 外
三重県	伊賀市	上野城	扇之芝	伊賀市立上野西小学校北校舎	上野市立上野西小学校S35北校舎→H7・8改築	3	不詳	S35	RC 2	未指定	国史跡 外	上野公園 外
三重県	伊賀市	上野城	扇之芝	伊賀市立上野西小学校南校舎	上野市立上野西小学校S36南校舎→H7・8改築	3	不詳	S36	RC 2	未指定	国史跡 外	上野公園 外
三重県	伊賀市	上野城	扇之芝	伊賀市立上野西小学校管理棟	上野市立上野西小学校S37管理棟→H7・8改築	3	不詳	S37	RC 2	未指定	国史跡 外	上野公園 外
三重県	伊賀市	上野城	扇之芝	伊賀市立上野西小学校体育館	S41上野市立上野西小学校竣工	3	坂倉準三	S41	RC 2 地下 1	未指定	国史跡 外	上野公園 外
三重県	伊賀市	上野城	北谷馬場	旧小田小学校本館	M14啓迪学校→H2解体調査・保存復元工事	3	不詳	M14	木 2	県指定	国史跡 外	上野公園 外
滋賀県	彦根市	彦根城	二の丸	滋賀県立彦根東高等学校武道場	S34体育館として竣工→S56より現名称→H26・27耐震改修工事	3	不詳	S34	RC 1	未指定	特別史跡 内	金亀公園 外

分類(建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:官公庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
滋賀県	彦根市	彦根城	二の郭	滋賀県立彦根東高等学校第一本館	S37竣工→H26・27耐震改修工事	3	不詳	S37	RC4	未指定	特別史跡内	金亀公園 外
滋賀県	彦根市	彦根城	二の郭	滋賀県立彦根東高等学校第二本館	S35竣工→H26・27耐震改修工事	3	不詳	S35	RC3	未指定	特別史跡内	金亀公園 外
滋賀県	彦根市	彦根城	二の郭	滋賀県立彦根東高等学校第一別館	S37図書館として竣工→H26・27耐震改修工事	3	不詳	S37	RC2	未指定	特別史跡内	金亀公園 外
滋賀県	彦根市	彦根城	二の郭	滋賀県立彦根東高等学校作法室	T4滋賀県立彦根中学校竣工→T6陸軍特別大演習時の御座所として改修→S42移築→S62現在地に移築	3	滋賀県	T4	木1	未指定	特別史跡内	金亀公園 外
滋賀県	彦根市	彦根城	二の郭	滋賀県立彦根東高等学校旧門衛所	旧制彦根中学校門衛所	3	不詳	M22	木1	未指定	特別史跡内	金亀公園 外
滋賀県	彦根市	彦根城	二の郭	彦根市民活動センター	T13彦根高等商業学校外国人教員宿舍として竣工→H11彦根市所有	3	W. M. ヴォーリズ	T13	木2	未指定	特別史跡内	金亀公園 外
滋賀県	彦根市	彦根城	三の郭	滋賀大学経済学部講堂	旧彦根高等商業学校講堂	3	文部省建築課	T13	木2	登録	特別史跡外	金亀公園 外
滋賀県	彦根市	彦根城	三の郭	滋賀大学陵水会館	旧彦根高等商業学校昭和13・58年改修	3	W. M. ヴォーリズ	S13	木2	登録・彦根市景観重要建造物	特別史跡外	金亀公園 外
大阪府	高槻市	高槻城	三の丸	高槻市立第一中学校北館	S37竣工→H24改修→H27耐震補強工事完了	3	不詳	S37	RC3	未指定	府史跡内外不明	城跡公園 外
兵庫県	尼崎市	尼崎城	本丸	尼崎市立文化財取蔵庫(東側)	S8尼崎市立高等女学校校舎→S41城内中学校→H7成良中学校→H9より現施設	3	尼崎市営繕課	S8	RC3	未指定	未指定	尼崎城址公園 外
兵庫県	尼崎市	尼崎城	本丸	尼崎市立文化財取蔵庫(西側)	S13尼崎市立高等女学校校舎→S41城内中学校→H7成良中学校→H10より現施設	3	尼崎市営繕課	S13	RC3	未指定	未指定	尼崎城址公園 外
兵庫県	篠山市	篠山城	三の丸	篠山市立篠山小学校校舎5棟	M43現在地に移転→昭和20年代に現校舎新築	3	不詳	S20年代	木2	未指定	国史跡内	無
兵庫県	篠山市	篠山城	三の丸	篠山市立篠山小学校講堂	篠山町立尋常小学校S10竣工	3	中西六郎	S10	S1	未指定	国史跡内	無
兵庫県	小野市	小野陣屋	陣屋内	小野市立好古館	S11竣工小野市立小野小学校講堂→H2より現施設	3	内藤克雄	S11	RC1	景観形成重要建造物	未指定	無
兵庫県	小野市	小野陣屋	陣屋内	掲揚台	S15竣工小野市立小野小学校→H2より好古館カ	3	不詳	S15	RC	未指定	未指定	無
奈良県	天理市	柳本陣屋	主郭カ	天理市立柳本小学校校舎	S42竣工	3	不詳	S42	RC3	未指定	未指定	無
福岡県	久留米市	久留米城	柳原	久留米大学本部	S4九州医学専門学校本館として竣工→S27久留米大学	3	松田昌平	S4	RC2	未指定	県史跡外	無
福岡県	北九州市	小倉城	三の丸	北九州市立西小倉小学校校舎	S38竣工	3	不詳	S38	RC2	未指定	未指定	勝山公園 外
佐賀県	鹿島市	鹿島城	本丸	佐賀県立鹿島高等学校	S41竣工	3	不詳	S41	RC4	未指定	未指定	旭ヶ岡公園 外
佐賀県	鹿島市	鹿島城	本丸	佐賀県立鹿島高等学校旧講堂	鹿島立教公民学校S3竣工	3	不詳	S3	木1	未指定	未指定	旭ヶ岡公園 外
長崎県	島原市	島原城	三の丸	島原市立第一小学校第二校舎	島原第一尋常高等小学校S2竣工	3	不詳	S2	RC3	未指定	県史跡外	島原城跡公園 外
長崎県	島原市	島原城	三の丸	長崎県立島原高等学校	長崎県立島原高等女学校S5竣工	3	田中隆次	S5	RC4	未指定	県史跡外	島原城跡公園 外
熊本県	八代市	八代城	出丸	八代市立代陽小学校校舎	代陽尋常小学校校舎T12竣工	3	不詳	T12	RC2	未指定	国史跡外	八代城跡公園 外
大分県	速見郡日出町	日出城	二の丸	日出町立日出中学校校舎	S36	3	不詳	S36	RC4	未指定	町史跡外	城下公園 外
山形県	米沢市	米沢城	内堀	舞鶴橋	M19	4	不詳	M19	石	登録	未指定	松が岬公園内

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公庁庁舎 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
福島県	白河市	白河小峰城	外郭(のち三の丸)	JR白河駅舎	白棚鉄道白河駅→S16鉄道省白棚線白河駅→S62JR白河駅	4	不詳	T10	木2カ	未指定	国史跡 外	城山公園 外
茨城県	水戸市	水戸城	二の丸と中三の丸の間	大手橋	S10竣工	4	不詳	S10	RC	関東の土木遺産	県史跡 外	無
茨城県	水戸市	水戸城	北三の丸	水戸市水道低区配水塔	S7竣工	4	後藤鶴松	S7	RC	登録	県史跡 外	無
東京都	千代田区	江戸城	二重橋濠	皇居正門鉄橋(二重橋)	M21竣工、掛け替えS39竣工	4	平井敦・内藤春治	S39	上路ローゼ	未指定	国特別史跡 内	皇居外苑 外
東京都	千代田区	江戸城	二重橋濠	皇居正門石橋	M20年竣工	4		M20		未指定	国特別史跡 内	皇居外苑 外
長野県	上田市	上田城	二の丸堀	けやき並木遊歩道	真田傍陽線	4	不詳	S2頃	鉄道	未指定	国史跡 内	上田城跡公園 内
長野県	上田市	上田城	二の丸堀	けやき並木遊歩道プラットホーム跡	真田傍陽線公会堂下駅→S23公園前駅	4	不詳	S2	石積	未指定	国史跡 内	上田城跡公園 内
長野県	上田市	上田城	二の丸堀	二の丸橋	S2頃	4	不詳	S2頃	RC	未指定	国史跡 内	上田城跡公園 内
長野県	長野市	松代城	外堀カ	旧松代駅	T11河東電鉄松代駅竣工→T15長野電鉄松代駅→H24廃線により廃駅	4	不詳	T11	木1	未指定	国史跡 外	海津城跡公園
三重県	伊賀市	上野城	本丸	上野北部第1配水池	S11	4	不詳	S11		未指定	国史跡 内	上野公園 内
三重県	伊賀市	上野城	本丸	上野北部第2配水池	S27	4	不詳	S27		未指定	国史跡 内	上野公園 内
三重県	伊賀市	上野城	本丸	上野北部第3配水池	S39	4	不詳	S39		未指定	国史跡 内	上野公園 内
三重県	伊賀市	上野城	丸の内	伊賀鉄道上野市駅	T6伊賀軌道上野町駅→大阪電気軌道、参宮急行鉄道、関西急行鉄道(この時上野市駅となる)、近畿日本鉄道→H19伊賀鉄道	4	不詳	T6	木3	未指定	国史跡 外	上野公園 外
滋賀県	大津市	膳所城	二の丸	大津市膳所浄水場	S30完成	4	不詳	S30	RC	未指定	未指定	膳所城跡公園
大阪府	大阪市	大坂城	本丸	配水場配水池	M28竣工	4	Henry Spencer Palmer	M28	RC	未指定	国特別史跡 内	大阪城公園 内
大阪府	大阪市	大坂城	本丸	大手前配水場ポンプ場	S6竣工	4	宗建築事務所	S6	RC	未指定	国特別史跡 内	大阪城公園 内
大阪府	岸和田市	岸和田城	三の曲輪カ	南海電鉄蛸地蔵駅舎	南海電気鉄道南海蛸地蔵駅舎T14竣工	4	不詳	T14	木1	未指定	府史跡 外	千亀利公園 外
和歌山県	和歌山市	和歌山城	本丸御殿	城内配水池	T14	4	不詳	T14	RC	未指定	国史跡 内	和歌山公園 内
和歌山県	和歌山市	和歌山城	本丸御殿	城内配水池管理用建物	T14	4	不詳	T14	木1	未指定	国史跡 内	和歌山公園 内
山口県	萩市	萩城	三の丸	指月川(萩疎水)	T13竣工	4	不詳	T15	石積	未指定	国史跡 外	指月公園 外
香川県	丸亀市	丸亀城	見返り坂中段	石垣		4	不詳	不詳	間知積	未指定	国史跡 内	亀山公園 内
秋田県	大館市	大館城	二の丸	大館市役所本庁舎	S29竣工→S51増築→H28新庁舎建設が決定	5	不詳	S29	RC3	未指定	未指定	桂城公園 外
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城	三の丸御隠殿	旧鶴岡警察署庁舎	M17創建→S32現在地に移築	5	高橋兼吉	M17	木2	国重文	国史跡 外	鶴岡公園 外
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城	三の丸御隠殿	旧西田川郡役所	M14創建→S47現在地に移築	5	高橋兼吉	M14	木2+塔屋	国重文	国史跡 外	鶴岡公園 外
福島県	福島市	福島城	二の丸	福島県庁舎	S13現本庁の一部竣工→S29増築→S46西庁舎完成→H23震災により一部被災	5	不詳	S13、S29	本庁RC5	未指定	未指定	無
福島県	いわき市	磐城平城	本丸	旧仮藩庁	M2建築→幾度か改築	5	不詳	M2カ	木1	未指定	市史跡 外	丹後沢公園 外
福島県	白河市	白河小峰城	外郭(のち三の丸)	福島森林管理署白河支署	S42頃建築、H29年度撤去予定	5	不詳	S42頃	木2	未指定	国史跡 外	城山公園 外
茨城県	水戸市	水戸城	中三の丸	茨城県三の丸庁舎	S5竣工→S294階部分を増築→H11より三の丸庁舎→H23耐震補強・4階増築部撤去工事	5	置塩章	S5	RC3	未指定	県史跡 外	無

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:官公庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
群馬県	前橋市	前橋城	本丸	群馬県庁昭和庁舎	S3竣工	5	佐藤功一	S3	RC3+地下1	登録	未指定	無
東京都	千代田区	江戸城	本丸	楽部庁舎	S13	5	不詳	S13	RC2	未指定	国特別史跡外	皇居東御苑内
東京都	千代田区	江戸城	三の丸	宮内庁病院	S39竣工	5	不詳	S39	RC2	未指定	国特別史跡外	皇居東御苑内
東京都	千代田区	江戸城	三の丸	皇宮警察本部庁舎	T10旧枢密院庁舎→H18より耐震補強工事	5	臨時議院建築局(矢橋賢吉)	T10	RC2	未指定	国特別史跡外	皇居東御苑内
東京都	千代田区	江戸城	秋葉山	宮内庁庁舎	S10明治宮殿焼失後S43まで仮宮殿として利用	5	不詳	S10	RC3	未指定	国特別史跡外	無
神奈川県	小田原市	小田原城	二の丸南曲輪	小田原市郷土文化館	S20小田原職業紹介所→婦人専修職業訓練校→S48郷土文化館が現在地に移転	5	不詳	S20	木2	未指定	国史跡内	小田原城址公園内
神奈川県	小田原市	小田原城	三の丸	ハローワーク小田原	S5前後竣工小田原公共職業安定所	5	不詳	S5前後	RC3	未指定	国史跡外	小田原城址公園外
福井県	福井市	福井城	三の丸	福井地方裁判所	S29竣工	5	不詳	S29	SRC3塔屋3	未指定	未指定	無
福井県	勝山市	勝山城	二の丸・三の丸	勝山市役所庁舎	S33竣工	5	不詳	S33	RC3	未指定	未指定	中央公園外
福井県	大野市	大野城	三の丸	大野市民俗資料館	M22大野治安裁判所本館・守衛室→S43現在地に移築現名称	5	不詳	M22	木1カ	市指定	県指定外	亀山公園外
山梨県	甲府市	甲府城	楽屋曲輪	山梨県庁舎本館	S38竣工→H14免震工事	5	内藤多伸・明石信道	S38	RC8地下1	未指定	県史跡外	舞鶴城公園外
山梨県	甲府市	甲府城	楽屋曲輪	山梨県庁舎別館	S5地上3階建の本庁舎として竣工→S284階部分に増築→S39別館となる	5	佐野利器カ	S5	当初RC3地下1 現RC4地下1	県指定	県史跡外	舞鶴城公園外
山梨県	甲府市	甲府城	楽屋曲輪	山梨県議会議事堂	S3竣工→H24改修工事完了	5	不詳	S3	RC2地下1	県指定	県史跡外	舞鶴城公園外
長野県	松本市	松本城	三の丸	松本市役所庁舎	S34竣工	5	不詳	S34	RC5	未指定	国史跡外	松本城公園外
静岡県	静岡市	駿府城	三の丸	静岡県庁本館	S12竣工	5	泰井武・県営繕課(大村巳代治)	S12	RC4一部5	登録	未指定	駿府城公園外
愛知県	名古屋市中	名古屋城	三の丸	名古屋市中庁舎	S8竣工	5	平林金吾・名古屋土木部建築課	S8	SRC5地下1	国重文	国特別史跡外	名城公園外
愛知県	名古屋市中	名古屋城	三の丸	愛知県庁舎	S13竣工	5	渡辺仁・西村好時・愛知県内務部営繕課	S13	SRC6地下1一部7	国重文	国特別史跡外	名城公園外
三重県	伊賀市	上野城	扇之芝	伊賀市南庁舎	S39上野市庁舎として竣工	5	坂倉準三	S39	RC2	未指定	国史跡外	上野公園外
三重県	伊賀市	上野城	扇之芝	伊賀市北庁舎	S38三重県上野総合庁舎として竣工	5	坂倉準三	S38	RC2	未指定	国史跡外	上野公園外
三重県	伊賀市	上野城	丸の内	北泉家住宅主屋	M21上野警察署庁舎→S13現在地に移築	5	不詳	M21	木1	登録	国史跡外	上野公園外
大阪府	岸和田市	岸和田城	二の曲輪	岸和田市庁舎旧館	S29竣工	5	不詳	S29	RC3	未指定	府史跡外	千亀利公園外
兵庫県	尼崎市	尼崎城	二の丸	旧尼崎警察署	T15兵庫県尼崎警察署→S45より児童館、市役所出張所、青少年の武道場→H7より未使用	5	兵庫県営繕課(置塩章)	T15	RC3	未指定	未指定	尼崎城址公園外
兵庫県	姫路市	姫路城	中曲輪	姫路郵便局	S42竣工	5	不詳	S42	RC4	未指定	国特別史跡外	姫路公園外
兵庫県	姫路市	姫路城	中曲輪	姫路モノリス	S5通信省姫路電信局別館として竣工→NTT兵庫支店姫路2号館→H21より現施設	5	上浪朗(通信省営繕課技官)	S5	RC2	姫路市都市景観重要建築物	国特別史跡外	姫路公園外
兵庫県	宍粟市	山崎陣屋	本丸	山崎歴史民俗資料館	M22龍野治安裁判所山崎出張所として竣工→一時法務局庁舎→S50現在地に移築現施設	5	不詳	M22	木1	未指定	未指定	本田公園内
奈良県	大和郡山	郡山城	三の丸	大和郡山市庁舎	S36竣工	5	山田守	S36	RC3	未指定	県史跡外	郡山城跡公園外
鳥取県	松江	松江城	三の丸	鳥根県庁舎	S34竣工	5	不詳	S34	RC6地下2	未指定	国史跡外	松江城公園外
山口県	山口市	山口城	本丸	山口県政資料館	T5山口県庁・県会議事堂	5	妻木頼黄・武田五一・大熊喜邦	T5	レンガ2	国重文	未指定	無

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
佐賀県	佐賀市	佐賀城	北の丸	佐賀県庁舎本館	S25竣工	5	阿部美樹志	S25	RC3一部4	未指定	県史跡 外	佐賀城公園外
北海道	松前郡松前町	松前城	東郭	松前神社本殿	T12竣工	6	不詳	T12	木1	未指定	国史跡 外	松前公園内
青森県	弘前市	弘前城	四の丸(北の郭)	護国神社本殿	M3創建→M43現在地へ移築	6	不詳	M3カ	木1	未指定	国史跡 内	弘前公園内
青森県	八戸市	八戸城	本丸	三八城神社本殿	M11創立	6	不詳	M11カ	木1	未指定	国史跡内	三八城公園内
青森県	八戸市	八戸城	本丸	三八城神社拝殿	M11創立	6	不詳	T15	木1	未指定	国史跡内	三八城公園内
岩手県	盛岡市	盛岡城	二ノ丸	消防義魂碑	S7建立	6	不詳	S7	石造	未指定	国史跡 内	盛岡城跡公園内
岩手県	盛岡市	盛岡城	三の丸	櫻山神社本殿	M32社地造営	6	不詳	M33	木1	未指定	国史跡 内	盛岡城跡公園外
岩手県	盛岡市	盛岡城	三の丸	櫻山神社拝殿	M32社地造営	6	不詳	M33	木1	未指定	国史跡 内	盛岡城跡公園外
岩手県	盛岡市	盛岡城	三の丸	櫻山神社神門	M32社地造営	6	不詳	M33	木1	未指定	国史跡 内	盛岡城跡公園外
岩手県	花巻市	花巻城	三の丸	鳥谷ヶ崎神社拝殿	T3現在地に新築	6	不詳	T3	木1	未指定	未指定	鳥谷ヶ崎公園外
岩手県	一関市	一関城	本丸	田村神社本殿	大正年間に遷座	6	不詳	大正年間	木1	未指定	未指定	釣山公園内
宮城県	遠田郡涌谷町	涌谷要害	本丸	涌谷神社本殿	M7創建	6	不詳	T9	木1	未指定	町史跡 内	城山公園内
宮城県	亘理郡亘理町	亘理要害	本丸	亘理神社本殿	M12創建、M31改築	6	不詳	M31	木1	未指定	未指定	無
宮城県	亘理郡亘理町	坂元要害	本丸	坂元神社拝殿	天正2(1574)創建、妙見宮→M2北辰神社に改称→M42坂元神社に改称	6	不詳	T8拝殿(本殿は伝天正年間)	木1	未指定	未指定	無
宮城県	白石市	白石城	二の丸	神明社本殿	S10新築	6	不詳	S10	木1	未指定	市史跡 外	益岡公園外
宮城県	白石市	白石城	二の丸	神明社拝殿	S10新築	6	不詳	S10	木1	未指定	市史跡 外	益岡公園外
宮城県	白石市	白石城	西曲輪	益岡八幡宮	M15建立	6	不詳	M15	石造1	未指定	市史跡 外	益岡公園外
秋田県	秋田市	久保田城	本丸	興次郎稲荷神社	M25現在地に移転→S元建立	6	不詳	S元	木1	未指定	未指定	千秋公園内
秋田県	横手市	横手城	本丸	秋田神社	M12新築(一部旧表門の遺材を利用)	6	不詳	M22	木1	未指定	未指定	横手公園内
秋田県	由利本荘市	本荘城	本丸	本荘神社	M19類焼焼失、M22年10月再建	6	不詳	M22	木1	未指定	未指定	本荘公園内
秋田県	由利本荘市	本荘城	本丸	由利招魂社	M40本荘招魂社	6	不詳	M40	木1	未指定	未指定	本荘公園内
山形県	山形市	山形城	三の丸	山形聖ペテロ教会礼拝堂	M43竣工→現・日本聖公会東北教区山形聖ペテロ教会	6	J.M.ガーディナー	M43	木1	登録	国史跡 外	霞城公園外
山形県	山形市	山形城	三の丸	山形カトリック教会	T末～S初竣工	6	不詳	T末～S初竣工	木2	未指定	国史跡 外	霞城公園外
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城	本丸	荘内神社	M10創建	6	高橋兼吉	M10カ	木1	未指定	国史跡 外	鶴岡公園内
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城	本丸	鶴岡護国神社	M28創建	6	不詳	M28カ	木1	未指定	国史跡 外	鶴岡公園内
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城	三の丸	鶴岡カトリック教会天主堂	M36建立	6	パピノ神父	M36	木1一部中2	国重文	国史跡 外	鶴岡公園外
山形県	新庄市	新庄城	本丸	戸沢神社	M26創建→M27社殿完成	6	不詳	M27	木1	未指定	市史跡 内	最上公園内
山形県	新庄市	新庄城	本丸	新庄護国神社	T4現在地に移転→S14新庄護国神社と改称	6	不詳	T4カ	木1	未指定	市史跡 内	最上公園内
山形県	上市市	上山城	本丸	月岡神社	M10創建→M11社殿建立	6	不詳	M11	木1	未指定	未指定	月岡公園内
山形県	米沢市	米沢城	本丸	上杉神社稽照殿	T8焼失→T12竣工	6	伊東忠太	T12	RC2	登録	未指定	松が岬公園内
山形県	米沢市	米沢城	二の丸	松岬神社	M35創建→T元社殿造営	6	不詳	T元カ	木1	未指定	未指定	松が岬公園内
福島県	相馬市	中村城	本丸	相馬神社本殿	M12創建	6	不詳	M12	木1	未指定	県史跡 内	馬陵公園内
茨城県	水戸市	水戸城	中三の丸	鹿島神社	S49に伊勢神宮内宮別宮旧社殿を賜り移築	6	不詳	S29頃	木1	市指定	特別史跡 内	弘道館公園外
茨城県	笠間市	笠間城	天守曲輪	佐志能神社	M5に旧社地に復す(笠間城楼閣の廢材を利用し社殿や築地堀を造営)	6	不詳	M5頃	木1	未指定	市史跡 内	無(県立自然公園内)

分類(建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
茨城県	土浦市	土浦城	三の丸	土浦聖バルナバ教会	S11竣工	6	佐藤組建築事務所(佐藤吉三郎)	S11	木1一部2	未指定	県史跡 外	亀城公園 外
栃木県	宇都宮市	宇都宮城	外郭	カトリック松が峰教会	S7竣工	6	マックス・ヒンデル	S7	RC4塔屋付	登録	未指定	無
群馬県	前橋市	前橋城	北曲輪	前橋聖マテア教会	S27マキム主教記念聖堂	6	不詳	S27	木1一部3	未指定	未指定	無
群馬県	前橋市	前橋城	北曲輪	前橋東照宮	M4再建	6	不詳	M4カ	木1	未指定	未指定	無
群馬県	前橋市	前橋城	外曲輪	前橋カトリック教会聖堂	S7竣工	6	不詳	S7	木1一部3	登録	未指定	無
群馬県	沼田市	沼田城	本丸	利根英霊殿	S9創建	6	不詳	S9	木1	未指定	市史跡 内	沼田城址公園 内
群馬県	沼田市	沼田城	保科郭	関口コオきりえ美術館	日本基督教団沼田教会 祈念会堂T3竣工 →S63現在地へ移築	6	小菅幸之助	T3	木2	登録	市史跡 内	沼田城址公園 内
群馬県	安中市	安中城	年寄(家老)屋敷	日本基督教団安中教会 教会堂	新島襄記念会堂、T8竣工	6	古橋柳太郎	T8	石1一部2	登録	未指定	無
群馬県	安中市	安中城	年寄(家老)屋敷	日本基督教団安中教会 温古亭	旧牧師館、T9竣工	6	不詳	T9	木1	登録	未指定	無
群馬県	安中市	安中城	年寄(家老)屋敷	日本基督教団安中教会 義園亭	旧柏木義園書斎、S10竣工	6	不詳	S10	木1	登録	未指定	無
群馬県	安中市	安中城	年寄(家老)屋敷	日本基督教団安中教会 宣教師館	旧ベーケン邸、S29竣工	6	不詳	S29	木2	登録	未指定	無
埼玉県	行田市	忍城	本丸	忍東照宮拜殿	M7現在地に移転(本殿は移築か)→S5拜殿造営	6	不詳	S5	木1	未指定	県旧跡 内	忍公園 内
埼玉県	行田市	忍城	本丸	忍諏訪神社	S36社殿造営	6	不詳	S36	木1	未指定	県旧跡 内	忍公園 内
東京都	千代田区	江戸城	吹上	宮中三殿	M21竣工	6	不詳	M21	木1	未指定	国特別史跡 外	吹上御苑 内
神奈川県	小田原市	小田原城	二の丸小峰曲輪	報徳二宮神社拜殿	M27創建→M42改築	6	不詳	M27カ	木1	未指定	国史跡 外	小田原城址公園 内
神奈川県	小田原市	小田原城	二の丸小峰曲輪	報徳二宮神社本殿	M42新築	6	不詳	M42	木1	未指定	国史跡 外	小田原城址公園 内
神奈川県	小田原市	小田原城	二の丸小峰曲輪	報徳二宮神社幣殿	M42新築	6	不詳	M42	木1	未指定	国史跡 外	小田原城址公園 内
新潟県	新発田市	新発田城	三の丸	日本カトリック教団カトリック新発田教会	S40竣工	6	アントニン・レーモンド	S40	レンガ・木1	未指定	市史跡 外	新発田城址公園 外
富山県	富山市	富山城	三の丸	真宗大谷派富山教区富山東別院	S25竣工	6	棟梁長沢酒井安一	S25	木1	未指定	未指定	富山城址公園 外
富山県	富山市	富山城	三の丸	浄土真宗本願寺派本願寺富山別院	S41竣工	6	不詳	S41	RC3カ	未指定	未指定	富山城址公園 外
石川県	金沢市	金沢城	金谷御殿	尾山神社神門	M8竣工	6	津田吉之助	M8	石・木3	国重文	国史跡 外	金沢城公園 外
石川県	金沢市	金沢城	金谷御殿	尾山神社本殿	M6竣工	6	不詳	M6	木1	未指定	国史跡 外	金沢城公園 外
石川県	金沢市	金沢城	金谷御殿	尾山神社拜殿	M6竣工	6	不詳	M6	木1	未指定	国史跡 外	金沢城公園 外
石川県	金沢市	金沢城	金谷御殿	尾山神社本殿玉垣	M6竣工	6	不詳	M6	レンガ	未指定	国史跡 外	金沢城公園 外
福井県	福井市	福井城	二の丸	福井神社神殿	S32竣工	6	福井大学工学部	S32	RC1	未指定	未指定	無
福井県	福井市	福井城	二の丸	福井神社拜殿	S32竣工	6	福井大学工学部	S32	RC1	未指定	未指定	無
福井県	福井市	福井城	二の丸	福井神社撰社	S32竣工	6	福井大学工学部	S32	RC1	未指定	未指定	無
福井県	福井市	福井城	二の丸	福井神社大鳥居	S33竣工	6	福井大学工学部	S33	RC1	未指定	未指定	無
福井県	福井市	福井城	二の丸	福井神社宝物殿	S35	6	福井大学工学部	S35	RC1	未指定	未指定	無
福井県	福井市	福井城	二の丸	福井神社絵馬堂	S40	6	福井大学工学部	S40	RC1	未指定	未指定	無
福井県	福井市	福井城	二の丸	福井神社社務所	S41	6	福井大学工学部	S41	RC1	未指定	未指定	無

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
長野県	松本市	松本城	三の丸・惣堀	四柱神社	M21大火により類焼→T13現在の社殿建立	6	不詳	T13	木1	未指定	国史跡 外	松本城公園 外
長野県	上田市	上田城	二の丸	上田招魂社	T12設立	6	不詳	T12	木1	未指定	国史跡 内	上田城跡公園 内
長野県	飯山市	飯山城	本丸	葵神社	M16竣工	6	不詳	M16	木1	未指定	県史跡 内	城山公園 内
長野県	諏訪市	高島城	本丸	諏訪護国神社	M33創建諏訪招魂社→S14諏訪護国神社→S22高島宮→S24諏訪招魂社→S33現名称	6	不詳	M33カ	木1	未指定	市史跡 内	高島公園 内
長野県	飯田市	飯田城	本丸	長姫神社	M33社殿新築	6	不詳	M33	木1	未指定	未指定	無
岐阜県	大垣市	大垣城	二の丸	濃飛護国神社本殿	S33竣工	6	不詳	S33	木1	未指定	市史跡 外	大垣公園 外
岐阜県	大垣市	大垣城	二の丸	濃飛護国神社拝殿	S34竣工	6	不詳	S34	木1	未指定	市史跡 外	大垣公園 外
岐阜県	大垣市	大垣城	二の丸	濃飛護国神社幣殿	S34竣工	6	不詳	S34	木1	未指定	市史跡 外	大垣公園 外
愛知県	岡崎市	岡崎城	本丸	龍城神社	S39再建	6	不詳	S39	RC1カ	未指定	市史跡 内	岡崎公園 内
愛知県	名古屋	名古屋城	三の丸	愛知県護国神社本殿	S33戦災復興竣工	6	不詳	S33	RC1カ	未指定	国特史 外	名城公園 外
愛知県	名古屋	名古屋城	三の丸	愛知県護国神社拝殿	S33戦災復興竣工	6	不詳	S33	RC1カ	未指定	国特史 外	名城公園 外
三重県	桑名市	桑名城	本丸	鎮国守国神社拝殿	T8竣工	6	不詳	T8	木1	未指定	県史跡 内	九華公園 内
三重県	桑名市	桑名城	本丸	鎮国守国神社社務所	T8竣工カ	6	不詳	T8カ	木2	未指定	県史跡 内	九華公園 内
三重県	桑名市	桑名城	本丸	鎮国守国神社楽翁公百年祭記念宝物館	S9竣工→S23改修	6	不詳	S9	RC2	登録	県史跡 内	九華公園 内
三重県	桑名市	桑名城	本丸	戊辰殉難招魂碑	M20	6		M20		未指定	県史跡 内	九華公園 内
三重県	亀山市	亀山城	西出丸	亀山神社	M41新築	6	不詳	M41	木1	未指定	県史跡 外	亀山公園 内カ
滋賀県	彦根市	彦根城	三の郭	スミス記念堂	旧須美壽記念禮拜堂	6	伝スミス	S6	木1	登録	特別史跡 外	金亀公園 外
京都府	亀岡市	亀山城	本丸	大本亀岡天恩郷万祥殿	S33完成	6	不詳	S33	木1	未指定	未指定	無
京都府	亀岡市	亀山城	本丸カ	大本亀岡天恩郷朝陽館	S31完成	6	不詳	S31	木1	未指定	未指定	無
京都府	亀岡市	亀山城	本丸カ	大本亀岡天恩郷宣霊社	S27完成	6	不詳	S27	木1	未指定	未指定	無
京都府	福知山市	福知山城	本丸	朝暉神社	M14天守跡に再建→S61現在地に移築	6	不詳	M14	木1	未指定	市史跡 外	福知山城公園 内
京都府	舞鶴市	田辺城	三の丸	カトリック西舞鶴教会	S26竣工	6	不詳	S26	木2一部3	未指定	市史跡 外	舞鶴公園 外
大阪府	大阪市	大坂城	三の丸	教育塔	S11竣工	6		S11	石張り	未指定	国特別史跡 内	大阪城公園 内
大阪府	高槻市	高槻城	三の丸	カトリック高槻教会高山右近記念聖堂	S37竣工	6	不詳	S37	木2カ	未指定	府史跡 内外不明	城跡公園 外
大阪府	高槻市	高槻城	三の丸	高槻えびす神社	S41現社殿建立	6	不詳	S41	木1	未指定	府史跡 内外不明	城跡公園 外
大阪府	岸和田市	岸和田城	三の曲輪	岸和田復活協会	T10聖堂竣工→S17現在地に移転(ただし詳細不明)	6	不詳	S17以前	木1	未指定	府史跡 外	千亀利公園 外
兵庫県	尼崎市	尼崎城	西三の丸	櫻井神社本殿	M15創建	6	不詳	M15	木1	未指定	未指定	尼崎城址公園 外
兵庫県	尼崎市	尼崎城	西三の丸	櫻井神社拝殿	M15創建	6	不詳	M15	木1	未指定	未指定	尼崎城址公園 外
兵庫県	篠山市	篠山城	本丸	青山神社本殿	M15創建→T5拝殿改築	6	不詳	M15カ	木1	未指定	国史跡 内	無
兵庫県	篠山市	篠山城	本丸	青山神社拝殿	M15創建→T5拝殿改築	6	不詳	M15カ	木1	未指定	国史跡 内	無
兵庫県	姫路市	姫路城	内曲輪	姫路神社	S2現在地に移転	6	不詳	S2カ	木1	未指定	国特別史跡 内	姫路公園 内
兵庫県	姫路市	姫路城	中曲輪	カトリック姫路教会ザビエル館(大講堂)	S24竣工→S47新聖堂竣工により大講堂となる	6	不詳	S24カ	木2カ	未指定	国特別史跡 内	姫路公園 外
兵庫県	姫路市	姫路城	中曲輪	射橋兵主神社	S28	6	不詳	S28	木1	未指定	国特別史跡 外	姫路公園 外
兵庫県	小野市	小野陣屋	陣屋内	磐代神社本殿	S41竣工	6	不詳	S41	RC1	未指定	未指定	無

分類(建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
兵庫県	赤穂市	赤穂城	三の丸	大石神社義士宝物殿	T初神戸湊川神社宝物館として竣工→S51現在地に移築	6	不詳	T初	木1	未指定	国史跡内	無カ
兵庫県	赤穂市	赤穂城	三の丸	大石神社義芳門	M5神戸湊川神社の門として竣工→S42現在地に移築	6	不詳	M5	木1	未指定	国史跡内	無カ
奈良県	大和郡山市	郡山城	天守郭	柳澤神社	M13二の丸跡に創建→M15現在地に移転	6	不詳	M13カ	木1	未指定	県史跡内	郡山城跡公園外
岡山県	岡山市	岡山城	内濠	岡山禁酒会館	T12竣工	6	不詳	T12	木3	登録	国史跡外	烏城公園外
岡山県	岡山市	岡山城	三の郭	岡山神社本殿	S33竣工	6	不詳	S33	RC1	未指定	国史跡外	烏城公園外
山口県	周南市	徳山陣屋	不明	祐綏神社	S35再建	6	不詳	S35	木1	未指定	未指定	徳山公園外
福岡県	久留米市	久留米城	本丸	篠山神社	M10創建	6	不詳	M10カ	木1	未指定	県史跡内	無
福岡県	北九州市	小倉城	北の丸	八坂神社	S9現在地に遷座	6	不詳	S9カ	木1	未指定	未指定	勝山公園内
長崎県	平戸市	平戸城	二の丸	亀岡神社本殿	M13竣工	6	不詳	M13	木1	登録	未指定	亀岡公園内
長崎県	平戸市	平戸城	二の丸	亀岡神社拝殿	M13竣工	6	不詳	M13	木1	登録	未指定	亀岡公園内
長崎県	平戸市	平戸城	二の丸	亀岡神社弊殿及び登廊	昭和前	6	不詳	昭和前	木1	登録	未指定	亀岡公園内
長崎県	平戸市	平戸城	二の丸	亀岡神社神楽殿	M13竣工	6	不詳	M13	木1	登録	未指定	亀岡公園内
熊本県	熊本市	熊本城	三の丸	熊本県護国神社	S32竣工	6	不詳	S32	木1	未指定	国特別史跡外	熊本城公園内
熊本県	八代市	八代城	本丸	八代宮	M17創建	6	不詳	M17カ	木1	未指定	国史跡内	八代城跡公園内
大分県	中津市	中津城	本丸	中津神社	M16	6	不詳	M16カ	木1	未指定	未指定	無
大分県	杵築市	杵築城	本丸	青筵神社	S11竣工	6	不詳	S11	木1	未指定	未指定	城山公園内
北海道	松前郡松前町	松前城	本丸	松前城資料館	天守S24消失→S36より現施設	7	大岡実	S35外観、S36落成	RC3	未指定	国史跡内	松前公園内
青森県	弘前市	弘前城	三の丸	弘前市民会館	S39竣工	7	前川國男	S39	RC地下1地上3	未指定	国史跡内	弘前公園内
岩手県	盛岡市	盛岡城	本丸	南部中尉騎馬像台座	M41建立、S19金属回収により供出	7	新海竹太郎(原型製作)伊藤忠太(台座)	M41		未指定	国史跡内	盛岡城跡公園内
宮城県	登米市	登米要害	二之曲輪	登米懐古館	S36竣工	7	不詳	M36	RC1	未指定	未指定	寺池城址公園内
秋田県	秋田市	久保田城	三の丸	秋田県民会館本館	本館：S36開館	7	不詳	S36	RC3	未指定	未指定	千秋公園内
秋田県	秋田市	久保田城	三の丸	秋田県民会館分館	分館：S36秋田県立図書館→H5秋田県生涯学習センター分館「ジョイナス」→H23県民会館分館	7	不詳	S36	RC3	未指定	未指定	千秋公園内
秋田県	秋田市	久保田城	三の丸	旧秋田県立美術館(平野政吉美術館)	S42開館→H23秋田県立美術館平野政吉コレクション→H25閉館	7	日建設計工務株式会社(現株式会社日建設計)	S42	RC3	未指定	未指定	千秋公園内
秋田県	横手市	横手城	二の丸	横手城展望台	S40岡崎城をモデルに復元	7	不詳	S40	RC4	未指定	未指定	横手公園内
山形県	山形市	山形城	二の丸	山形市児童文化センター	S38→H29解体予定	7	松ノ井覚治	S38	S1	未指定	国史跡内	霞城公園内
福島県	会津若松市	会津若松城	本丸	鶴ヶ城天守閣郷土博物館	S40再建	7	藤岡通夫	S40	RC5	未指定	国史跡内	鶴ヶ城公園内
茨城県	水戸市	水戸城	中三の丸	旧弘道館八卦堂	S28復元	7	不詳	S28	木1	未指定	特別史跡内	弘道館公園内
茨城県	水戸市	水戸城	中三の丸	旧弘道館国老詰所	S37復元し管理事務所として使用→S59より展示・管理施設→H19改修	7	不詳	S37	木1	未指定	特別史跡内	弘道館公園内
茨城県	水戸市	水戸城	中三の丸	旧弘道館政庁の便所・湯殿	S37復元	7	不詳	S37	木1	未指定	特別史跡内	弘道館公園内
茨城県	水戸市	水戸城	中三の丸	旧弘道館国至誠堂の便所	S37復元	7	不詳	S37	木1	未指定	特別史跡内	弘道館公園内

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
茨城県	水戸市	水戸城	中三の丸	旧弘道館通門	S37復元	7	不詳	S37	木1	未指定	特別史跡内	弘道館公園内
茨城県	水戸市	水戸城	中三の丸	旧弘道館土塀	S37復元	7	不詳	S37～42	コンクリート	未指定	特別史跡内	弘道館公園内
群馬県	高崎市	高崎城	三の丸	群馬音楽センター	S36竣工	7	アントニン・レーモンド	S36	RC	日本の近代建築・高崎市景観重要建造物	未指定	無
群馬県	伊勢崎市	伊勢崎陣屋	二の丸	旧時報鐘楼	T4竣工、小林桂助の寄付による	7	佐藤嘉市	T4	RC	市指定	未指定	無
群馬県	前橋市	前橋城	二の丸	群馬会館	S4→S54公会堂	7	佐藤功一	S4	RC4+地下2	登録	未指定	無
東京都	千代田区	江戸城	本丸	桃華楽堂	S41竣工皇后陛下御選歴記念桃華楽堂	7	宮内庁・今井兼次	S41	RC・S1～3	未指定	国特別史跡外	皇居東御苑内
神奈川県	小田原市	小田原城	本丸	天守閣	S35竣工	7	藤岡通夫	S35	RC5	未指定	国史跡内	小田原城址公園内
神奈川県	小田原市	小田原城	馬屋曲輪	二の丸観光案内所	S9小田原町立図書館→中央連絡所→NPO小田原ガイド協会詰所・観光課事務所	7	不詳	S9	木2	未指定	国史跡内	小田原城址公園内
神奈川県	小田原市	小田原城	二の丸南曲輪	小田原市立図書館星崎記念館	S34竣工	7	不詳	S34	RC3	未指定	国史跡内	小田原城址公園内
神奈川県	小田原市	小田原城	三の丸	小田原市民会館本館	S40竣工	7	不詳	S40	SRC6地下1塔屋2	未指定	国史跡外	小田原城址公園外
神奈川県	小田原市	小田原城	三の丸	小田原市民会館大ホール	S37竣工	7	不詳	S37	SRC3地下1	未指定	国史跡外	小田原城址公園外
富山県	富山市	富山城	本丸	富山市郷土博物館	S29模擬天守として建設→同年より現施設名	7	不詳	S29	RC4	登録	未指定	富山城址公園内
富山県	富山市	富山城	本丸	富山市佐藤記念美術館	S36佐藤美術館→S38富山美術館→H10富山佐藤美術館→H13富山市に寄贈	7	不詳	S36	RC2	未指定	未指定	富山城址公園内
石川県	小松市	小松城	三の丸	小松市公会堂	S34竣工→H27展望塔撤去	7	浦建築設計研究所(浦清)	S34	RC4	未指定	市史跡外	芦城公園内
石川県	小松市	小松城	三の丸	ラジオ塔	M39日露戦争戦勝記念碑→S7よりラジオ塔	7	不詳	M39	石	未指定	市史跡外	芦城公園内
山梨県	甲府市	甲府城	本丸	謝恩碑	T9完成	7	伊東忠太、明治神宮造営局技師大江新太郎	T9	石	未指定	県史跡内	舞鶴城公園内
山梨県	甲府市	甲府城	鍛冶曲輪	恩賜林記念館	S28竣工	7	不詳	S28	木2	未指定	県史跡内	舞鶴城公園内
長野県	上田市	上田城	二の丸	上田市立博物館本館	S40新館として竣工	7	不詳	S40	RC2カ	未指定	国史跡内	上田城跡公園内
長野県	上田市	上田城	二の丸	旧山本鼎記念館	S37開館、H26閉館→H28上田市立博物館別館	7	不詳	S37	RC2	未指定	国史跡内	上田城跡公園内
長野県	上田市	上田城	二の丸	愛の鐘	S36建設	7	不詳	S36	S	未指定	国史跡内	上田城跡公園内
長野県	上田市	上田城	二の丸	信越放送ラジオ塔	不明	7	不詳	不明	RC	未指定	国史跡内	上田城跡公園内
長野県	上田市	上田城	二の丸	上田市民会館	S37建設	7	石本喜久治	S37	RC	未指定	国史跡内	上田城跡公園内
長野県	伊那市	高遠城	三の丸	高遠閣	S11竣工	7	伊藤文四郎	S11	木2	登録	国史跡内	高遠城址公園内
岐阜県	郡上市	郡上城	本丸	天守閣	S8再建	7	不詳	S8	木5	市指定	県史跡内	城山公園外
岐阜県	大垣市	大垣城	本丸	復元天守	S34再建→H21・22改修	7	不詳	S34	RC4	大垣市景観遺産	市史跡内	大垣公園内
岐阜県	大垣市	大垣城	竹之丸	大垣消防員顕徳碑	S7竣工	7	藤井安蔵	S7	石造	未指定	不明	大垣公園内
静岡県	掛川市	掛川城	下台所	淡山翁記念報徳図書館	S2竣工	7	不詳	S2	RC2	県指定	県史跡外	掛川城公園外
静岡県	浜松市	浜松城	本丸	模擬天守閣	S33竣工	7	不詳	S33	RC3	未指定	市史跡内	浜松城公園内
愛知県	豊橋市	吉田城	本丸	復元鉄櫓	S29竣工	7	不詳	S29	RC3カ	未指定	未指定	豊橋公園内
愛知県	岡崎市	岡崎城	本丸	復元天守	S34竣工	7	城戸久	S34	RC5	未指定	市史跡内	岡崎公園内
愛知県	名古屋	名古屋城	本丸	名古屋城天守閣	S34再建	7	不詳	S34	SRC7	未指定	国特別史跡内	名城公園内
三重県	津市	津城	本丸	丑寅櫓	S33復元	7	不詳	S33	RC3	未指定	県史跡内	お城公園内

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
三重県	松阪市	松坂城	二の丸	松阪市立歴史民俗資料館本館	M45飯南郡図書館として竣工→S8松阪市立図書館→S53改装現施設	7	清水義一	M45	木2	登録	国史跡内	松阪公園内
三重県	松阪市	松坂城	二の丸	松阪市立歴史民俗資料館倉庫	M45飯南郡図書館として竣工→S8松阪市立図書館→S54改装現施設	7	清水義一	M46	土蔵2	登録	国史跡内	松阪公園内
三重県	松阪市	松坂城	隠居丸	本居宣長記念館旧鈴屋遺蹟保存会正門	M42竣工鈴屋遺蹟保存会正門→S63より記念館内の施設	7	土屋純一・奥野栄蔵	M42	木1	登録	国史跡内	松阪公園内
三重県	松阪市	松坂城	隠居丸	本居宣長記念館旧鈴屋遺蹟保存会事務所	M42竣工→S45より郷土史料展示室や松阪市史編集室として利用→S63より茶席「桜松閣」として利用	7	土屋純一・奥野栄蔵	M42	木1	登録	国史跡内	松阪公園内
三重県	松阪市	松坂城	隠居丸	本居宣長記念館旧鈴屋遺蹟保存会塀	M42竣工→S63より記念館内の施設	7	土屋純一・奥野栄蔵	M42	木1	登録	国史跡内	松阪公園内
三重県	伊賀市	上野城	本丸天守台	伊賀文化産業城	S10竣工	7	渡辺虎一	S10	木3	市指定	国史跡内	上野公園内
三重県	伊賀市	上野城	本丸	芭蕉翁記念館	S34竣工	7	城戸武男	S34	RC1	未指定	国史跡内	上野公園内
三重県	伊賀市	上野城	伊予丸	俳聖殿	S17竣工	7	伊東忠太	S17	木2	国重文	国史跡内	上野公園内
三重県	伊賀市	上野城	伊予丸	伊賀流忍者博物館	S39伊賀流忍者屋敷	7	不詳	S39	木1	未指定	国史跡内	上野公園内
三重県	伊賀市	上野城	伊予丸	忍者伝承館	S45忍術科学館	7	不詳	S45	木1	未指定	国史跡内	上野公園内
三重県	伊賀市	上野城	伊予丸	白鳳公園レストハウス		7	板倉準三	S38	RC1	未指定	国史跡内	上野公園内
滋賀県	彦根市	彦根城	二の郭	開国記念館	彦根市民ギャラリー(復元多聞櫓)	7	不詳	S35	SRC2	未指定	特別史跡内	金亀公園外
京都府	舞鶴市	田辺城	本丸	彰古館	S15竣工	7	不詳	S15	RCカ	未指定	市史跡内	舞鶴公園内
大阪府	大阪市	大坂城	本丸	大阪城天守閣	S6竣工→H7から9まで修理	7	設計:古川重春(市土木局建築課) 意匠:天沼俊一 構造:波江悌夫・片岡安	S6	RC6地下2	登録	国特別史跡内	大阪城公園内
大阪府	大阪市	大坂城	本丸	ラジオ塔2基	不明	7	不詳	不明	RC	未指定	国特別史跡内	大阪城公園内
大阪府	大阪市	大坂城	南外濠西端	ラジオ塔1基	不明	7	不詳	不明	RC	未指定	国特別史跡内	大阪城公園内
大阪府	高槻市	高槻城	三の丸	高槻市民会館	S39竣工	7	不詳	S39	RC5	未指定	府史跡内外不明	城跡公園外
大阪府	岸和田市	岸和田城	本丸	天守	S29竣工→H4大改修	7	池田谷久吉	S29	SRC3	未指定	府史跡内	千亀利公園内
兵庫県	赤穂市	赤穂城	三の丸	大手門	S30再建	7	不詳	S30	木	未指定	国史跡内	無力
兵庫県	赤穂市	赤穂城	三の丸	大手隅櫓	S30再建	7	不詳	S31	木2カ	未指定	国史跡内	無力
奈良県	大和郡山市	郡山城	法印郭	城址会館	M41奈良県立図書館(奈良公園内)→市民会館→S43現在地に移築	7	橋本卯兵衛(県技師)	M41	木2	県指定	県史跡内	郡山城跡公園外
和歌山県	和歌山市	和歌山城	天守曲輪	天守閣	S33竣工	7	藤岡通夫	S33	RC3	未指定	国史跡内	和歌山公園内
鳥取県	松江市	松江城	本丸	一ノ門	S35復元	7	不詳	S35	木	未指定	国史跡内	松江城山公園内
鳥取県	松江市	松江城	本丸	南多聞	S35復元	7	不詳	S35	木	未指定	国史跡内	松江城山公園内
岡山県	岡山市	岡山城	本丸	天守	S41再建	7	不詳	S41	RC6地下1	未指定	国史跡内	鳥城公園内
岡山県	岡山市	岡山城	本丸	不明門	S41再建	7	不詳	S41	RC1	未指定	国史跡内	鳥城公園内
岡山県	岡山市	岡山城	本丸	廊下門	S41再建	7	不詳	S41	RC1カ	未指定	国史跡内	鳥城公園内
岡山県	岡山市	岡山城	本丸	六十一雁木上門	S41再建	7	不詳	S41	木1	未指定	国史跡内	鳥城公園内
岡山県	岡山市	岡山城	西の郭	岡山市民会館	S39竣工	7	不詳	S39	SRC4地下1	未指定	国史跡外	鳥城公園外
広島県	福山市	福山城	本丸	天守閣	S41竣工	7	不詳	S41	RC	未指定	国史跡内	福山城公園内
広島県	福山市	福山城	本丸	月見櫓	S41竣工	7	不詳	S41	RC	未指定	国史跡内	福山城公園内

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他													
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名	
広島県	福山市	福山城	本丸	御湯殿	S41竣工	7	不詳	S41	RC	未指定	国史跡 内	福山城公園内	
広島県	広島市	広島城	本丸	広島城郷土館(天守閣)	S33	7	不詳	S33	SRC 5(最上層のみ木)	未指定	国史跡 内	中央公園内	
山口県	岩国市	岩国城	本丸	復興天守	S37	7	藤岡通夫	S37	RC 6	未指定	未指定	無	
愛媛県	松山市	松山城	三の丸	松山市民会館	S40竣工	7	不詳	S40	RC 3	未指定	国史跡 内	城山公園内	
福岡県	久留米市	久留米城	本丸	有馬記念館	S35竣工→H21改修	7	不詳	S35	RC 2	未指定	県史跡 内	無	
福岡県	北九州市	小倉城	本丸	天守	S34復元	7	藤岡通夫	S34	RC 5	未指定	未指定	勝山公園内	
佐賀県	佐賀市	佐賀城	北の丸	佐賀県立図書館	S37竣工	7	内田祥哉・東京第一工房	S37	RC 2	未指定	県史跡 外	佐賀城公園内	
佐賀県	唐津市	唐津城	本丸	天守閣	S41竣工	7	藤岡通夫	S41	RC 5	未指定	未指定	舞鶴海浜公園内	
長崎県	平戸市	平戸城	本丸	天守閣	S37復元	7	藤岡通夫	S37	RC 5	未指定	未指定	亀岡公園内	
長崎県	島原市	島原城	本丸	天守閣	S39復元	7	藤岡通夫	S39	RC 5	未指定	県史跡 内	島原城跡公園内	
熊本県	熊本市	熊本城	本丸	天守閣(大天守)	S35復元	7	藤岡通夫	S35	RC 7	未指定	国特別史跡 内	熊本城公園内	
熊本県	熊本市	熊本城	本丸	天守閣(小天守)	S35復元	7	藤岡通夫	S35	RC 5	未指定	国特別史跡 内	熊本城公園内	
大分県	中津市	中津城	本丸	復興天守	S39竣工	7	藤岡通夫	S39	RC 5	未指定	未指定	無	
大分県	大分市	府内城	東之丸	二重櫓	S40復元	7	不詳	S40	RC	未指定	県史跡 内	大分城址公園内	
大分県	大分市	府内城	東之丸	着到櫓	S40復元	7	不詳	S40	RC	未指定	県史跡 内	大分城址公園内	
大分県	大分市	府内城	東之丸	北東隅櫓	S40復元	7	不詳	S40	RC	未指定	県史跡 内	大分城址公園内	
大分県	大分市	府内城	東之丸	南東隅櫓	S40復元	7	不詳	S40	RC	未指定	県史跡 内	大分城址公園内	
大分県	大分市	府内城	西之丸	多門櫓	S40復元	7	不詳	S40	RC	未指定	県史跡 内	大分城址公園内	
大分県	大分市	府内城	西之丸	西南隅櫓	S40復元	7	不詳	S40	RC	未指定	県史跡 内	大分城址公園内	
大分県	白杵市	白杵城	三の丸	白杵市立白杵図書館 莊田平五郎記念子ども図書館	T 7 竣工 莊田平五郎図書館→H15改修	7	不詳	T 7	木 2	登録	県史跡 外	白杵公園外	
大分県	白杵市	白杵城	三の丸	白杵市立白杵図書館文庫	T 7 竣工	7	不詳	T 7	土蔵 3	登録	県史跡 外	白杵公園外	
宮崎県	延岡市	延岡城	西曲輪	内藤記念館	S38竣工	7	不詳	S38	RC 2	未指定	市史跡 内	城山公園内	
鹿児島県	鹿児島市	鹿児島城	二の丸	鹿児島県立図書館博物館	S 2 鹿児島県立図書館として竣工→S28現名称	7	鹿児島県建築課(岩下松雄)	S 2	RC 3 塔屋付	登録	県史跡 外	城山公園外	
青森県	弘前市	弘前城	内北の郭	武徳殿	M44演武場→H22改修、休憩所	8	不詳	M44	木 1	未指定	国史跡 内	弘前公園内	
青森県	弘前市	弘前城	内北の郭	無料休憩所	S17修練道場→H22改修、休憩所	8	不詳	S17	木 1	未指定	国史跡 内	弘前公園内	
秋田県	大館市	大館城	二の丸	大館市民体育館(桂城体育館)	S37竣工→H28新市庁舎建設にともない解体予定	8	不詳	S37	RC+Sカ	未指定	未指定	桂城公園外	
山形県	山形市	山形城	二の丸	山形市野球場	S24→S41現在地に移設	8	不詳	S41カ	RC+S1	未指定	国史跡 内	霞城公園内	
山形県	山形市	山形城	二の丸	山形市弓道場	S42竣工	8	不詳	S42	木 1	未指定	国史跡 内	霞城公園内	
山形県	山形市	山形城	二の丸	山形県体育館	S41竣工	8	不詳	S41	SRC 3 (B1)	未指定	国史跡 内	霞城公園内	
山形県	山形市	山形城	二の丸	武道館	S42竣工	8	不詳	S42	S+RC 3	未指定	国史跡 内	霞城公園内	
福島県	会津若松市	会津若松城	北出丸	会津武徳殿	S 9 竣工	8	不詳	S 9	木 1	未指定	国史跡 内	鶴ヶ城公園内	
福島県	会津若松市	会津若松城	三の丸	会津水泳場(市民プール)	S26設置→H26改修	8	不詳	S26	RC 1	未指定	国史跡 内	鶴ヶ城公園内	
茨城県	水戸市	水戸城	北三の丸	水戸東武館	S28竣工	8	不詳	S28	木 2	未指定	県史跡 外	無	
埼玉県	川越市	川越城	新曲輪	川越市菅初雁公園野球場	S27開場→S58ナイター設備導入	8	不詳	S27	RCカ	未指定	県史跡 外	初雁公園内	

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
東京都	千代田区	江戸城	北之丸	日本武道館	S39竣工東京オリンピックの柔道競技会場として使用	8	山田守	S39	SRC 地上3地下2	未指定	国特別史跡外	北の丸公園内
東京都	千代田区	江戸城	三の丸	済寧館	S8竣工	8	不詳	S8	木1カ	未指定	国特別史跡外	皇居東御苑内
新潟県	上越市	高田城	三の丸 瓢箪曲輪	上越市高田公園野球場	S24竣工 高田市営球場→S46上越市営球場→H24改修完成	8	不詳	S24	RCカ	未指定	県指定内	高田公園内
山梨県	甲府市	甲府城	二の丸	武徳殿集会所	S8竣工大日本武徳会山梨支部武徳殿	8	不詳	S8	木1	未指定	県史跡内	舞鶴城公園内
岐阜県	大垣市	大垣城	二の丸	大垣城ホール	飛行機格納庫→S28大垣市スポーツセンターとして移築→S63大改修現名称	8	不詳	S28	RC4	未指定	市史跡外	大垣公園外
愛知県	名古屋市中区	名古屋城	二の丸	愛知県体育館	S39竣工	8	中山克己	S39	RC3地下1	未指定	国特別史跡外	名城公園内
大阪府	大阪市	大坂城	西大番小屋	修道館	S38竣工	8	不詳	S38	RC	未指定	国特別史跡内	大阪城公園内
兵庫県	明石市	明石城	居屋敷郭	兵庫県立明石公園第一野球場	S7竣工兵庫県立明石公園第一野球場→H23より「明石トーカロ球場」とも呼称	8	不詳	S7	RCカ	未指定	国史跡内	明石公園内
佐賀県	佐賀市	佐賀城	北の丸	市村記念体育館	S38竣工	8	坂倉準三	S38	RC4地下1	未指定	県史跡外	佐賀城公園内
熊本県	熊本市	熊本城	三の丸	藤崎台県営野球場	S35竣工→H8改修	8	不詳	S35	RC	未指定	国特別史跡外	熊本城公園内
宮城県	登米市	佐沼要害	二の丸	旧亘理邸	M25(佐沼亘理家九代隆胤公邸宅、古鹿山房)→旧道市歴史博物館→H12登米市歴史博物館敷地内	9	不詳	M25	木1	未指定	史跡外	鹿ヶ城公園内
秋田県	大館市	大館城	二の丸	桜櫓館(旧櫻場家住宅)	大館町長を務めた櫻場文蔵が建て、S55現在地に曳き屋した	9	設計石田常吉、小野熊蔵 大工棟梁越後甚吉	S8頃	木2	登録	未指定	桂城公園外
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城	三の丸	旧風間家住宅主屋	M29竣工	9	不詳	M29	木2	国重文	国史跡外	鶴岡公園外
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城	三の丸	旧風間家住宅小座敷	M30頃竣工	9	不詳	M30頃	木1	国重文	国史跡外	鶴岡公園外
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城	三の丸	旧風間家住宅風呂場・便所	M29頃竣工	9	不詳	M29頃	木1	国重文	国史跡外	鶴岡公園外
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城	三の丸	旧風間家住宅前蔵	M29頃竣工	9	不詳	M29頃	土蔵2	国重文	国史跡外	鶴岡公園外
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城	三の丸	旧風間家住宅中蔵・奥蔵	M29竣工	9	不詳	M29	土蔵2	国重文	国史跡外	鶴岡公園外
山形県	米沢市	米沢城	二の丸	米沢市上杉記念館	M29上杉伯爵邸「鶴鳴館」→T8焼失→T14竣工→S20米軍接収→S25市所有→S54上杉記念館に改称	9	中條精一郎	T14	木2	登録	未指定	松が岬公園内
福島県	白河市	白河小峰城	外郭(のち三の丸)	林家住宅建造物群	M期に建立	9	不詳	主屋・仕事場M中期 味噌蔵M期 ギャラリーM29	木	白河市歴史的風致形成建造物	国史跡外	城山公園外
群馬県	館林市	館林城	八幡郭	旧藩主秋元家別邸	M末竣工	9	不詳	M末	木1	未指定	市史跡外	つつじが岡第二公園内
群馬県	館林市	館林城	八幡郭	旧藩主秋元家別邸洋館	S5東京駿河台秋元家屋敷内に竣工→後に移築	9	不詳	S5	木1	未指定	市史跡外	つつじが岡第二公園内
群馬県	沼田市	沼田城	保科郭	旧土岐家住宅洋館	T13竣工→H2現在地へ移築	9	不詳	T13	木3	登録	市史跡内	沼田城址公園内
東京都	千代田区	江戸城	吹上	吹上大宮御所	S36吹上御所竣工→S63現名称(香淳皇后住居)	9	不詳	S36	RC2	未指定	国特別史跡外	吹上御苑内
神奈川県	小田原市	小田原城	三の丸	清閑亭	M39元貴族院副議長黒田長成の別荘→H20より市所有	9	不詳	M39	木1一部 2	登録	国史跡外	小田原城址公園外
新潟県	上越市	高田城	二の丸	旧小林古径邸	S9東京馬込に竣工→H3現在地へ移築	9	吉田五十八	S9	木2	登録	県指定内	高田公園内
長野県	飯田市	飯田城	本丸カ	柳田國男館	S2竣工(旧喜談書屋)→S63現在地に移築	9	不詳	S2	木2	登録	未指定	無

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
静岡県	掛川市	掛川城	下台所	仰徳学寮	M17有栖川宮熾仁親王邸として竣工→S13現在地に移築→S36改修→H期改修	9	不詳	M17	木2	県指定	県史跡 外	掛川城公園外
静岡県	掛川市	掛川城	下台所	仰徳記念館	M17有栖川宮熾仁親王邸として竣工→S13現在地に移築	9	不詳	M17	木1	県指定	県史跡 外	掛川城公園外
静岡県	掛川市	掛川城	下台所	冀北学舎	M10岡田良一郎自邸兼私塾→M32現在地に移築	9	不詳	M10	木2	県指定	県史跡 外	掛川城公園外
静岡県	掛川市	掛川城	竹の丸	竹の丸主屋	M36竣工松本家住宅	9	不詳	M36	木1	市指定	県史跡 外	掛川城公園外
静岡県	掛川市	掛川城	竹の丸	竹の丸離れ	M36竣工松本家住宅カ→T9から10年に二階建に増築	9	不詳	M36カ	木2	市指定	県史跡 外	掛川城公園外
大阪府	岸和田市	岸和田城	二の曲輪	がんこ岸和田五風荘	S4寺田利吉別邸→S61岸和田市土地開発公社所有→H4市所有→H21より現施設	9	不詳	S4～14	木1～2	市指定	府史跡 外	千亀利公園外
大阪府	岸和田市	岸和田城	三の曲輪	ギャンブル屋根の長屋	不詳	9	不詳	戦前	木2	未指定	府史跡 外	千亀利公園外
奈良県	大和郡山市	郡山城	毘沙門郭	柳沢文庫	M38もしくは39に柳沢邸として竣工→車寄はとS9東京から移築。S35より財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会の所有現名称	9	不詳	M38・39	木1	未指定	県史跡 内	郡山城跡公園外
鳥取県	鳥取市	鳥取城	二の丸	仁風閣	池田家別邸、M40竣工	9	片山東熊	M40	木2	国重文	国史跡 内	久松公園内
広島県	福山市	福山城	二の丸	福山市福寿会館本館	S前安部和助別邸本館	9	不詳	S前	木1	登録	国史跡 内	福山城公園内
広島県	福山市	福山城	二の丸	福山市福寿会館西茶室	S前安部和助別邸西茶室	9	不詳	S前	木1	登録	国史跡 内	福山城公園内
広島県	福山市	福山城	二の丸	福山市福寿会館南茶室	S前安部和助別邸南茶室	9	不詳	S前	木1	登録	国史跡 内	福山城公園内
広島県	福山市	福山城	二の丸	福山市福寿会館洋館	S前安部和助別邸洋館	9	不詳	S前	木2	登録	国史跡 内	福山城公園内
広島県	福山市	福山城	二の丸	福山市福寿会館西蔵	S前安部和助別邸西蔵	9	不詳	S前	土蔵2	登録	国史跡 内	福山城公園内
広島県	福山市	福山城	二の丸	福山市福寿会館東蔵	S前安部和助別邸東蔵	9	不詳	S前	土蔵2	登録	国史跡 内	福山城公園内
香川県	高松市	高松城	三の丸	披雲閣本館	T6松平家高松別邸として竣工	9	清水組	T6	木1一部2	国重文	国史跡 内	玉藻公園内
香川県	高松市	高松城	三の丸	披雲閣倉庫	T6松平家高松別邸として竣工	9	清水組	T6	木1	国重文	国史跡 内	玉藻公園内
愛媛県	松山市	松山城	有力家臣屋敷地	萬翠荘	T11久松家別邸→戦後GHQ接收将校宿舎→S22松山商工会議所→S27松山家庭裁判所→S29愛媛県郷土芸術館→S54愛媛県立美術館分館→S21より一般公開施設	9	木子七郎	T11	RC2	国重文	国史跡 外	城山公園外
福岡県	久留米市	久留米城	外郭	石橋迎賓館	S8石橋次郎邸として竣工→S17より会社事務所→戦後米軍接收→S32よりプリジストン所有	9	松田軍平	S8	RC2	未指定	県史跡 外	無
佐賀県	唐津市	唐津城	三の丸	旧高取家住宅	高取伊好邸宅M38竣工→H9市所有→H13～17修復復原工事	9	不詳	M38	木2	国重文	未指定	舞鶴海浜公園外
長崎県	大村市	大村城	外郭	大村市教育の館	大村家別邸T4竣工	9	不詳	T4	木1	未指定	県史跡 外	大村公園外
長崎県	島原市	島原城	三の丸	小早川家住宅主屋	M23	9	不詳	M23	木1	登録	県史跡 外	島原城跡公園外
長崎県	島原市	島原城	三の丸	小早川家住宅煉瓦塀	明治後期	9	不詳	明治後期	煉瓦造	登録	県史跡 外	島原城跡公園外
大分県	速見郡日出町	日出城	三の丸	旧成清家日出別邸(的山荘)主屋	T4竣工→S39料亭開業→H22町所有→H23飲食店開業	9	不詳	T4	木一部2	国重文	町史跡 外	城下公園外
大分県	速見郡日出町	日出城	三の丸	旧成清家日出別邸(的山荘)北離れ	T4竣工→S39料亭開業→H22町所有→H23飲食店開業	9	不詳	T4	木2	国重文	町史跡 外	城下公園外

分類(建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:官公庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
大分県	速見郡日出町	日出城	三の丸	旧成清家日出別邸(的山荘)東離れ	T4竣工→S39料亭開業→H22町所有→H23飲食店開業	9	不詳	T4頃	木2	国重文	町史跡外	城下公園外
大分県	速見郡日出町	日出城	三の丸	旧成清家日出別邸(的山荘)土蔵	T4竣工→S39料亭開業→H22町所有→H23飲食店開業	9	不詳	T4頃	木2	国重文	町史跡外	城下公園外
大分県	速見郡日出町	日出城	三の丸	旧成清家日出別邸(的山荘)表門	T4竣工→S39料亭開業→H22町所有→H23飲食店開業	9	不詳	T4頃	木1	国重文	町史跡外	城下公園外
大分県	臼杵市	臼杵城	三の丸	旧稲葉家別邸大書院	M35竣工	9	不詳	M35	木1	登録	県史跡外	臼杵公園外
大分県	臼杵市	臼杵城	三の丸	旧稲葉家別邸御居間	M35頃竣工	9	不詳	M35頃	木1	登録	県史跡外	臼杵公園外
大分県	臼杵市	臼杵城	三の丸	旧稲葉家別邸台所	M35頃竣工→H2改修	9	不詳	M35頃	木1	登録	県史跡外	臼杵公園外
大分県	臼杵市	臼杵城	三の丸	旧稲葉家別邸土蔵	M35頃竣工	9	不詳	M35頃	土蔵2	登録	県史跡外	臼杵公園外
大分県	臼杵市	臼杵城	三の丸	旧稲葉家別邸御門	M35頃竣工→H元改修	9	不詳	M35頃	木1	登録	県史跡外	臼杵公園外
大分県	臼杵市	臼杵城	三の丸	旧稲葉家別邸外塀及び東門	M35頃竣工→H2改修	9	不詳	M35頃	木1	登録	県史跡外	臼杵公園外
山形県	米沢市	米沢城	本丸	上杉神社社殿庭園		10	不詳	大正年間	池庭	未指定	未指定	松が岬公園内
山形県	米沢市	米沢城	本丸	上杉神社社務所庭園		10	不詳	大正年間	池庭	未指定	未指定	松が岬公園内
山形県	米沢市	米沢城	二の丸	米沢市上杉記念館庭園	M29上杉伯爵邸「鶴鳴館」庭園。T期改修	10	不詳	M期	池庭	未指定	未指定	松が岬公園内
神奈川県	小田原市	小田原城	三の丸	清閑亭庭園	M39元貴族院副議長黒田長成の別荘	10	不詳	M39	芝庭	未指定	国史跡外	小田原城址公園外
石川県	金沢市	金沢城	金谷御殿	尾山神社庭園	金谷御殿の庭を改修	10	不詳	幕末から明治初年	池庭	県指定名勝	国史跡外	金沢城公園外
静岡県	掛川市	掛川城	竹の丸	竹の丸庭園	M36竣工松本家住宅	10	不詳	M36カ	平庭	未指定	県史跡外	掛川城公園外
愛知県	名古屋市中	名古屋城	三の丸	三の丸庭園	M14-17に三の丸庭園南御庭の一部と流れを移し、陸軍将校クラブ併行社南庭とする	10	吉田昭和	M17	枯山水	未指定	国特別史跡外	名城公園外
三重県	松阪市	松坂城	隠居丸	本居宣長旧宅庭園	M42旧宅移築に伴い庭も模す	10	不詳	M42	平庭	未指定	特別史跡内	松阪公園内
大阪府	大阪市	大坂城	本丸	旧紀州御殿付属庭園	M19紀州御殿移築・平庭作庭か→S6大阪市迎賓館の池庭として改造→S8天臨閣と改称→戦後米軍改修	10	不詳	S6	池庭	未指定	国特別史跡内	大阪城公園内
大阪府	高槻市	高槻城	三の丸	公園内園池	旧陸軍工兵第四聯隊将校集会所の庭園か	10	不詳	不明	石組	未指定	府史跡内外不明	城跡公園内
大阪府	高槻市	高槻城	三の丸	公園内園池遺構	旧陸軍工兵第四聯隊下士官集会所の庭園か	10	不詳	不明	石組	未指定	府史跡内外不明	城跡公園内
大阪府	岸和田市	岸和田城	本丸	岸和田城庭園(八陣の庭)	S28竣工	10	重森三玲	S28	枯山水	国指定名勝	府史跡内	千亀利公園内
大阪府	岸和田市	岸和田城	二の曲輪	がんこ岸和田五風荘庭園	S4寺田利吉別邸→S61岸和田市土地開発公社所有→H4市所有→H21より現施設庭園	10	不詳	S4～14	池庭	市指定	府史跡外	千亀利公園外
広島県	福山市	福山城	二の丸	福山市福寿会館庭園	安部和助別荘庭園	10	西村(京都)	S13頃か	池庭	未指定		
広島県	広島市	広島城	本丸上段	広島大本営庭園	日清戦争時大本営庭園	10	不詳	不明	車廻・池	未指定	国史跡内	中央公園内
香川県	高松市	高松城	三の丸	高松城跡披雲閣庭園	T6松平家高松別邸として竣工	10	大胡勘蔵	T6	平庭	国名勝	国史跡内	玉藻公園内
愛媛県	松山市	松山城	有力家臣屋敷地	萬翠荘庭園	T11久松家作庭	10	不詳	T11	池、流れ、芝	未指定	国史跡外	城山公園外
福岡県	久留米市	久留米城	外郭	石橋迎賓館庭園	S8石橋徳次郎邸として竣工→S17より会社事務所→戦後米軍接収→S32よりプリジストン所有	10	戸野琢磨	S8	芝庭	未指定	県史跡外	無
福岡県	久留米市	久留米城	外郭	久留米大本営庭園	M44陸軍大演習時の明治天皇行在所	10	不詳	M44	平庭	未指定	県史跡外	無
佐賀県	唐津市	唐津城	三の丸	旧高取家庭園	高取伊好邸宅M38竣工→H9市所有→H13～17修復復原工事	10	不詳	M38	芝庭	未指定	未指定	舞鶴海浜公園外

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他													
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名	
大分県	速見郡日出町	日出城	三の丸	旧成清博愛別邸庭園(的山荘庭園)	T4竣工	10	細川円松ら	T4頃	借景	登録	町史跡 外	城下公園 外	
北海道	函館市	五稜郭		五稜郭公園		11		T3		歴史公園100選			
北海道	松前郡松前町	松前城		松前公園	福山公園	11		M11		歴史公園100選			
青森県	弘前市	弘前城		弘前公園(鷹揚公園)	M41皇太子が命名鷹揚公園	11		M28		歴史公園100選			
岩手県	盛岡市	盛岡城		岩手公園(盛岡城跡公園)	H18愛称を盛岡城跡公園とする	11	長岡安平	M39		歴史公園100選			
岩手県	花巻市	花巻城		鳥谷ヶ崎公園		11		S37		未指定			
宮城県	柴田郡芝田町	船岡要害		船岡城址公園		11		S34		未指定			
宮城県	白石市	白石城		益岡公園		11		M33		歴史公園100選			
秋田県	秋田市	久保田城		千秋公園		11	長岡安平(M44)	M23		市指定名勝、歴史公園100選			
秋田県	横手市	横手城		横手公園		11		M41		歴史公園100選			
秋田県	由利本荘市	本荘城		本荘公園		11	長岡安平	T年間		歴史公園100選			
山形県	山形市	山形城		霞城公園		11		S23		歴史公園100選			
山形県	鶴岡市	鶴ヶ岡城		鶴岡公園		11		M8		歴史公園100選			
山形県	米沢市	米沢城		松が岬公園		11		M7		未指定			
福島県	二本松市	二本松城		霞ヶ城公園		11		S8		歴史公園100選			
福島県	会津若松市	会津若松城		鶴ヶ城公園		11	本多静六(T6)	T6		歴史公園100選			
福島県	猪苗代町	猪苗代城		亀ヶ城公園		11		M38		未指定			
福島県	相馬市	中村城		馬陵公園		11		S36		歴史公園100選			
福島県	白河市	白河小峰城		城山公園		11		S26		歴史公園100選			
茨城県	水戸市	水戸城		弘道館公園	水戸公園	11		M8		歴史公園100選			
茨城県	笠間市	笠間城		城跡公園		11		大正年間		未指定			
茨城県	結城市	結城城		城跡歴史公園	結城城跡公園	11		S28		未指定			
茨城県	土浦市	土浦城		亀城公園		11		M32		未指定			
栃木県	宇都宮市	宇都宮城		宇都宮城址公園	御本丸公園、H14改称	11		S33		歴史公園100選			
栃木県	佐野市	佐野城		城山公園		11		M22		市指定名勝			
栃木県	大田原市	大田原城		龍城公園		11		S12		未指定			
群馬県	前橋市	前橋城		前橋公園		11		M38		未指定			
群馬県	沼田市	沼田城		沼田公園		11		S2		歴史公園100選			
埼玉県	行田市	忍城		水城公園	成田公園、のち忍公園	11		M8		未指定			
埼玉県	さいたま市	岩槻城跡		岩槻城址公園	岩槻公園	11		T9		未指定			
東京都	千代田区	江戸城		皇居外苑		11		S24		未指定			
神奈川県	小田原市	小田原城		小田原城址公園		11		S33		歴史公園100選			
新潟県	新発田市	新発田城		新発田公園		11		S41		歴史公園100選			
新潟県	上越市	高田城		高田公園		11		S25		歴史公園100選			
富山県	富山市	富山城		城址公園	M15富山公園開設、M18廃止	11		S27		未指定			
石川県	小松市	小松城		芦城公園		11		M37		未指定			
福井県	大野市	大野城		亀山公園		11		S32		歴史公園100選			
福井県	坂井市	丸岡城		霞ヶ城公園		11		M34		歴史公園100選			

分類(建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
山梨県	甲府市	甲府城		舞鶴城公園		11	本多静六(T12)	M37		歴史公園100選		
長野県	松本市	松本城		松本城公園(中央公園)		11		S11		歴史公園100選		
長野県	上田市	上田城		上田城公園		11		M12		歴史公園100選		
長野県	飯山市	飯山城		城山公園		11	本多静六	M16		未指定		
長野県	長野市	松代城		海津城址公園	松代城跡公園	11		M37		歴史公園100選		
長野県	諏訪市	高島城		高島公園		11		M8		未指定		
長野県	伊那市	高遠城		高遠城址公園		11		M8		歴史公園100選		
長野県	小諸市	小諸城		懐古園		11	本多静六(T15)	M13		歴史公園100選		
静岡県	静岡市	駿府城		駿府公園		11		S23		歴史公園100選		
静岡県	浜松市	浜松城		浜松城公園		11		S25		未指定		
愛知県	豊橋市	吉田城		豊橋公園		11		S24		未指定		
愛知県	岡崎市	岡崎城		岡崎公園		11	本多静六(T6)	M8		歴史公園100選		
愛知県	刈谷市	刈谷城		亀城公園		11		S11		未指定		
愛知県	名古屋 市	名古屋 城		名城公園		11		S6		歴史公園100選		
三重県	桑名市	桑名城		九華公園		11	小沢圭次郎	S3		歴史公園100選		
三重県	亀山市	亀山城		亀山公園		11		M19		未指定		
三重県	松阪市	松坂城		松阪公園		11		M14		歴史公園100選		
三重県	伊賀市	上野城		上野公園	(白鳳公園)	11		M24		未指定		
滋賀県	彦根市	彦根城		金亀公園		11		T4		歴史公園100選		
滋賀県	大津市	膳所城		膳所城址公園		11		S27		歴史公園100選		
京都府	福知山 市	福知山 城		福知山城公園	朝暉公園	11		S26		歴史公園100選		
京都府	舞鶴市	田辺城		舞鶴公園		11		S32		未指定		
大阪府	大阪市	大坂城		大坂城公園		11		S6		歴史公園100選		
兵庫県	姫路市	姫路城		姫路城公園	姫山公園	11		T元年		歴史公園100選		
兵庫県	明石市	明石城		明石公園	M21開設31廃園。T7再開園。	11		T7		歴史公園100選		
兵庫県	赤穂市	赤穂城		赤穂城跡公園		11		S27計画決定		歴史公園100選		
奈良県	大和郡 山市	郡山城		郡山城跡公園		11		H24				
和歌山 県	和歌山 市	和歌山 城		和歌山公園		11	本多静六(T4)	M34		未指定		
鳥取県	鳥取市	鳥取城		久松公園		11	折下吉延	T11		未指定		
鳥取県	松江市	松江城		城山公園		11	本多静六	S2		歴史公園100選		
岡山県	岡山市	岡山城		烏城公園		11		S23		歴史公園100選		
岡山県	津山市	津山城		鶴山公園		11		M33		歴史公園100選		
広島県	福山市	福山城		福山城公園		11		M7		未指定		
広島県	広島市	広島城		中央公園		11		S30		歴史公園100選		
山口県	岩国市	岩国城		吉香公園		11		M18		歴史公園100選		
山口県	萩市	萩城		指月公園	志都岐公園、M43改称	11		M10		歴史公園100選		
徳島県	徳島市	徳島城		徳島中央公園		11	本多静六	M43		歴史公園100選		
香川県	高松市	高松城		玉藻公園		11		S30		歴史公園100選		
香川県	丸亀市	丸亀城		亀山公園(城跡公園)		11		T8		歴史公園100選		
愛媛県	松山市	松山城		城山公園	聚楽公園	11		M7		歴史公園100選		
愛媛県	大洲市	大洲城		城山公園		11		S42		歴史公園100選		

分類 (建設当初時) 1:産業施設 /2:軍関係施設 /3:教育施設 /4:都市基盤施設 /5:公官庁施設 /6:宗教施設 /7:文化観光施設 /8:運動施設 /9:住宅 /10:庭園 /11:公園 /12:その他												
都道府県	市町村	城跡	城跡における位置	現施設名	建設後の変遷	分類	設計者	建設年(開設年)	構造	文化財等	史跡指定状況	城跡公園名
愛媛県	今治市	今治城		吹揚公園		11		T3		歴史公園100選		
愛媛県	宇和島市	宇和島城		城山公園		11		S42		歴史公園100選		
高知県	高知市	高知城		高知公園		11	長岡安平(M42)	M6		歴史公園100選		
福岡県	福岡市	福岡城		舞鶴公園	平和台総合運動公園	11		S23か		歴史公園100選		
福岡県	北九州市	小倉城		勝山公園		11		S33		歴史公園100選		
佐賀県	佐賀市	佐賀城		佐賀城公園	城内公園	11		S36		歴史公園100選		
佐賀県	佐賀市	蓮池城		蓮池城公園		11		M6		未指定		
佐賀県	小城町	小城城		小城公園	桜岡公園が拡張	11		M8		歴史公園100選		
佐賀県	鹿島市	鹿島城		旭ヶ岡公園		11		T10		歴史公園100選		
佐賀県	唐津市	唐津城		舞鶴海浜公園	舞鶴公園	11		M9		未指定		
長崎県	大村市	大村城		大村公園	T8大村氏より借用	11		T11		歴史公園100選		
長崎県	島原市	島原城		島原城跡公園		11		S32		歴史公園100選		
熊本県	熊本市	熊本城		熊本城公園		11		S24		歴史公園100選		
熊本県	八代市	八代城		八代城跡公園		11		S28都市計画決定		未指定		
熊本県	人吉市	人吉城		人吉城跡公園		11		M36		未指定		
大分県	中津市	中津城		中津公園		11		M13		未指定		
大分県	臼杵市	臼杵城		臼杵公園		11		M6		歴史公園100選		
大分県	竹田市	岡城		岡公園		11		S7		歴史公園100選		
宮崎県	延岡市	延岡城		城山公園		11		M初年		歴史公園100選		
鹿児島県	鹿児島市	鹿児島城		城山公園		11		M39		未指定		
東京都	千代田区	江戸城	秋葉山	紅葉山御養蚕所	T3竣工	12	不詳	T3	木2	未指定	国特別史跡外	無
東京都	千代田区	江戸城	吹上	生物学研究所	S3竣工	12	不詳	S3	RC2・木1	未指定	国特別史跡外	吹上御苑内
神奈川県	小田原市	小田原城	三の丸	佐藤法律事務所	S9竣工	12	不詳	S9	木2	未指定	国史跡外	小田原城址公園外
静岡県	掛川市	掛川城	下台所	大日本報徳社大講堂	M36竣工遠江国報徳社公会堂	12	不詳	M36	木2	国重文	県史跡外	掛川城公園外
静岡県	掛川市	掛川城	下台所	大日本報徳社正門	M42	12	不詳	M42	石カ	県指定	県史跡外	掛川城公園外
愛知県	刈谷市	刈谷城	本丸	十朋亭	S5財団法人刈谷士族会の施設として竣工→S11町所有→S47改築	12	不詳	S5	木2	未指定	未指定	亀城公園内

の陳列所として、鹿児島県立博物館考古資料館は興業館としてそれぞれ建設され、地域の産業振興に一定の役割を果たしたものである。富山城跡の富山第一銀行旧本店、福井城跡の三井住友信託銀行福井支店、松本城跡の松本丸の内ホテル(旧第一勸業銀行松本支店)・日本銀行松本支店はいずれもビジネス街になった三の丸に昭和になって建てられ、岡山城跡のルネスホール(旧日本銀行岡山支店本部)もビジネス街になった二の丸に建てられている。

郡山城跡の柳沢文庫庭園内の四阿周囲の菱形の舗装はもともと城内に柳沢旧藩主家が金魚の養殖の研究のために作った池の護岸の天端部分である(図1)。郡山藩では幕末には金魚養殖が下級武士の内職となり、明治以降は旧藩主柳沢保申が柳沢養殖研究場を設立、後継者の柳沢保恵も養魚研究所を城下に設け、金魚養殖を奨励し地場産業に育て上げた。この遺構は養魚研究所の機能が城内の柳沢邸に移された時のもので、昭和40年に市民の庭園とするために埋められたものである。

2) 軍関係施設

軍関係施設は25件、全体の4.4%であった。

戦後の軍の解体に伴い、これらはすべて軍の施設ではなくなり、転用が図られている。

重要文化財となっているものは、江戸城跡の旧近衛師団司令部庁舎(現国立近代美術館工芸館)、大坂城跡で明治20年に陸軍省が再建した桜門、国の登録文化財は名古屋城跡の乃木倉庫、姫路城跡の旧第十師団兵器庫(現姫路市立美術館)である。

弘前城跡の第八師団門柱、小倉城跡の第十二師団司令部門柱は公園内に残されており、大阪城跡の陸軍大阪衛戍刑務所正門および塀は公園内の大阪城公園城内詰所の正門および塀として機能している。高槻城跡には旧陸軍工兵第四聯隊門柱三本および歩哨舎(図2)・門柱(一本)が残されている。

3) 教育施設

教育施設は47件、全体の8.3(%)であった。現代建築も少なくない。

文化財となっているものは、県指定文化財の旧三

重県第三尋常中学校校舎・校門、旧小田小学校本館、登録文化財が山形城跡の旧山形市立第一小学校校舎・門柱および柵、飯田城跡の飯田市立追手町小学校校舎・講堂、刈谷城跡の旧亀城小学校本館、鳥羽城跡の旧鳥羽小学校校舎、彦根城跡の旧彦根高等商業学校・講堂である。

鳥羽港を望む高台の鳥羽城跡本丸に立地する旧鳥羽小学校校舎は、昭和4年の建設である。三重県下最初の鉄筋コンクリート造の鉄筋コンクリート造3階建てで、中央部分など随所にアールデコ風の意匠を施す。大庄屋の広野藤右衛門、真珠の養殖とブランド化で富をなした御木本幸吉らの出資と助言によって建設されたもので、地域産業を背景とする。

小田原城跡の小田原城歴史見聞館は小田原第二尋常小学校の講堂として昭和9年に建設され、後には城内小学校、三の丸小学校の講堂として利用され、平成10年から現施設として転用されている(図3)。城跡に学校が置かれていた記憶を現地に留める。また、後述する二の丸観光案内所(昭和9年建設、小田原町立図書館)とともに城跡の近代を感じさせる建物となっている。

4) 都市基盤施設

都市基盤施設は22件、全体の3.9(%)であった。

文化財となっているものは、米沢城跡の舞鶴橋、水戸城跡の水戸市低区配水塔があり、ともに登録文化財である。指定文化財は見られない。

交通施設では、米沢城跡の舞鶴橋、白河城跡の白河駅舎、水戸城跡の大手橋、江戸城跡の皇居正門鉄橋・皇居正門石橋、上田城跡の真田傍陽線・同公会堂下駅・二ノ丸橋、松代城跡の松代駅舎、上野城跡の伊賀軌道上野町駅、岸和田城跡の南海電気鉄道南海蛸地蔵駅舎が上げられる。

上田城跡の丸東側の堀跡に布設された上田交通(現上田電鉄)真田傍陽線は昭和2年(1927)に上田と真田町域を結ぶ鉄道として開業し、菅平の観光や農産物の輸送手段として利用されたが、道路整備の進捗により昭和47年に廃止された。軌道跡は上田城跡公園内のけやき並木遊歩道として市民に親しま

れている（図4）。

水道施設では、水戸城跡の水戸市水道低区配水塔、上野城跡の上野市上水道水源地送水機関室・第一配水池・第二配水池・第三配水池、膳所城跡の天津市膳所浄水場、大坂城跡の配水池、和歌山城跡の城内配水池・同管理用建物が上げられる。上水関係施設は市街地では高所にあたる城地の地形的特色により立地したものである。

通信関係では、姫路城跡の旧逋信省姫路電信局別館が上げられる。

5) 官公庁施設

官公庁施設は36件、全体の6.8（%）であった。国の行政機関の他、県庁舎、市庁舎などが見られ、戦後の建築も少なくない。

重要文化財となっているものは、鶴ヶ岡城跡の旧鶴岡警察署庁舎・旧西川郡役所（ともに移築）、名古屋城跡の愛知県庁舎・名古屋市庁舎、山口城跡の旧山口県庁・県会議事堂、県指定文化財は甲府城跡の山梨県庁舎別館・山梨県議会議事堂、市指定文化財は大野城跡の旧大野治安裁判所本館・守衛室（ともに移築）、登録文化財は前橋城跡の群馬県庁昭和庁舎、駿府城跡の静岡県庁本館、上野城跡の旧上野警察署庁舎である。

名古屋城跡の愛知県庁舎は昭和13年竣工、西洋的な様式と城郭建築の意匠を融合させて地域色を現し、昭和前期の建築思潮で課題となっていた日本趣味の表現を達成しており、秀逸な意匠と高い歴史的価値を有しているとされる。名古屋市庁舎は昭和8年に建てられたもので、西洋的な建築様式に日本的な要素を取り入れた造形美を示しているとされる（文化庁HP 文化遺産オンライン参照）。共に帝冠様式で官庁街となった三の丸に並び立つ（図5）。

6) 宗教施設

宗教施設は114件、全体の20.2（%）であった。

神社・教会の他、慰霊施設もここに分類した。慰霊碑については台石に碑身が載るだけの簡素なものではなく、意匠的に特異なものなどを選んだ。

重要文化財となっているものは鶴ヶ岡城跡の鶴岡

カトリック教会天主堂、金沢城跡の尾山神社の神門、市指定文化財は水戸城跡の鹿島神社、登録文化財は山形城跡の山形聖ペテロ教会礼拝堂などである。

城跡に立地する神社はいつそこに立地したかによって、旧藩時代にはあったもの、維新後戻ったもの、維新後新たに設けられたものに大別でき、さらに最後のものは、①藩祖や旧藩主を祀るもの、②偉人を祀るもの、③戦没者を祀るものに分けられる。③には護国神社があり、これは旧招魂社が昭和14年（1939）に改称したもので、道府県に一社を原則とした。

水戸城三の丸跡の鹿島神社は、水戸藩第9代藩主徳川斉昭が創設した藩校弘道館の中央部に建てられたもので、安政4（1857）年に弘道館が本開館した際に常陸国一宮である鹿島神宮を分祀した。昭和20（1945）年の空襲で焼失したが、昭和49（1974）年の第60回伊勢神宮式年遷宮の後に、伊勢神宮内宮の境内別宮である風日祈宮の旧殿一式（本殿、拝殿、中門及び瑞垣）が特別に譲渡・移築されたもので、伊勢神宮独自の建築技法である神明造に特徴がある（水戸市HP 水戸市指定文化財一覧参照）。

群馬県には沼田城跡の日本基督教団沼田教会祈念会堂、前橋城跡の前橋カトリック教会聖堂・マキム主教記念聖堂、安中城跡の日本基督教団安中教会の教会堂・牧師館・柏木義圓書斎・ベーケン邸などキリスト教関係の遺構が多数ある。明治期において群馬県でキリスト教が広まった理由として、この地区は江戸時代以前から蚕糸業および織物業が盛んであったが、近代になって貿易が始まると蚕糸が輸出されるようになり、それらに関わった人々によってキリスト教が広められたことと、新島襄が安中藩出身であったことの影響も考えられている⁷⁾。城跡には珍しいキリスト教関係施設であるが、日本の近代化、地域の農業振興とも密接に関わっているのである。

大阪城跡の教育塔は昭和9年（1934）の第一次室戸台風によって多くの犠牲者を出したことを機に、大阪の教育界が提唱し、当時の帝国教育会によって

昭和11年に建立された慰霊施設である。塔の高さは30m、外側は白色の花崗岩で覆われている（図6）。

7) 文化観光施設

観光文化施設は100件、17.7（%）であった。

文化観光施設は戦後のものが比較的多く、天守閣・櫓・門等復元や復興など城郭に係る建造物と市民会館や音楽ホール、博物館など現代の文化に関わる文化系のものに大別することができる。

前者の天守閣の場合、一般に当時の図面等を基に構造まで忠実に再現したものを木造復元天守、構造は異なるが外観のみ再現したものを外観復元天守、天守は存在したが外観など確実な根拠のないものを復興天守、その場所に天守は存在しなかったが天守の外観を持つ施設を模擬天守と呼んでいる。これらの内部では、木造復元天守の場合は建物そのものの構造などの展示、その他のものは歴史資料の展示を行っている場合が多い。

外観だけでなく本来の構造も復元する復元建物は水戸城跡三の丸の特別史跡旧弘道館の八卦堂が昭和28年で最も早く、昭和35年（1960）の松江城跡の一ノ門・南多門と続く。

後者には松坂城跡の旧飯南郡図書館のように明治44年（1911）に開館した図書館もあり、倉庫とともに登録文化財となっている（図7）。また、後者には銅像の台座、記念碑、ラジオ塔など比較的小さいものも含まれる。記念碑については台石に碑身が載るだけの簡素なものではなく、甲府城跡の謝恩碑などのように意匠的に特異なものなどを選んだ。ラジオ塔は昭和5年（1930）から昭和18年（1943）までに450か所以上整備されたもので、上田城跡では昭和30年（1955）に民間放送局の信越放送が設置している。

重要文化財となっているものは上野城跡の俳聖殿、県指定文化財は掛川城跡の淡山翁記念図書館、郡山城跡の奈良県立図書館（移築）、市指定文化財は伊勢崎陣屋の旧時報鐘楼、郡上城跡の天守閣、上野城跡の伊賀文化産業城、登録文化財は前橋城跡の群馬会館、大坂城跡の大阪城天守閣などである。模

擬天守の郡上城天守閣、伊賀文化産業城、復興天守の大阪城天守閣が文化財となっていることは史跡整備を考える上では注目すべき事柄である。

8) 運動施設

運動施設は21件、全体の3.7（%）であった。

戦前は武徳殿などの武道場、戦後は公園施設の中の体育館や野球場などが多い。50年を経たものではあるが、その価値については十分な検討が必要であり、現在、文化財になっているものはない。

武徳殿は明治28年（1895）に設立された大日本武徳会の本部道場の名称で、各地の支部道場も同じ名称を使い、戦後の各地武道館に相当する機能を有した。弘前城跡の武徳殿は土産物店や喫茶店、休憩所の入った公園施設として利用されている（図8）。

9) 住宅

住宅は50件、全体の8.8（%）であった。

住宅では、皇室の邸宅・旧藩主の邸宅、政財界人邸宅・その他に大別できる。

皇室関係の邸宅では、江戸城跡の大宮吹上御所、掛川城跡の有栖川宮熾仁親王邸2棟である。後者は明治17年（1884）に有栖川宮熾仁親王邸として建てられた後、昭和13年（1938）に現在地に移築され、大日本報徳社の仰徳学寮・仰徳記念館として利用されてきたものである。

旧藩主邸宅は旧藩主家が元の城跡の一部を入手し邸宅を構えたものである。佐沼要害跡の佐沼亘理家九代隆胤公邸宅、米沢城跡の上杉伯爵邸、沼田城跡の旧土岐氏住宅洋館（移築）、館林城跡の秋元家別邸・洋館、大和郡山城跡の柳沢邸、鳥取城跡の池田家別邸仁風閣、松山城跡の久松家別邸、高松城跡の松平家別邸披雲閣・倉庫、臼杵城跡の稲葉家別邸の大書院・御居間・台所・土蔵・御門・外堀および東門、大村城跡の大村家別邸が見られる。

城跡内は城下に比べて展望が効くことから地元の政財界人が別邸用地などを求めて取得したのが見られる。小田原城跡の黒田長成（元貴族院副議長・福岡藩主家）の別荘清閑亭、福山城跡の安部和助（海産物商）別邸の本館・洋館・西茶室・南茶室・西蔵・

東蔵、久留米城跡の石橋徳次郎（ブリヂストン創業者）邸、日出城跡の成清家（金山経営）日出別邸の主屋・北離れ・東離れ・土蔵・表門、唐津城跡の高取伊好邸宅（炭鋳主）である。こうした邸宅には庭園も残されているものがある。

重要文化財となっているものは、鳥取城跡の池田家別邸仁風閣、高松城跡の松平家別邸披雲閣・倉庫、松山城跡の久松家別邸萬翠荘（図9）、唐津城跡の高取伊好邸宅、日出城跡の成清家（金山経営）日出別邸の主屋他、県指定文化財は掛川城跡の有栖川宮熾仁親王邸2棟および岡田良一郎邸兼私塾、市指定文化財は掛川城跡の松本家住宅の主屋・離れ、岸和田城跡の寺田利吉別邸、登録文化財は大館城跡の旧櫻場家住宅などがある。

10) 庭園

庭園は21件、全体の3.7（%）であった。

庭園は旧藩主家・旧藩士の庭園、政財界人邸宅の庭園、軍関係施設の庭園、神社庭園、公園施設としての庭園等がある。

旧藩主の庭園には米沢城跡の旧上杉伯爵邸庭園、高松城跡の松平家高松別邸披雲閣庭園、松山城跡の萬翠荘庭園、旧藩士家では島原城跡の小早川家住宅庭園がある。

政財界人邸宅の庭園には小田原城跡の黒田長成侯爵の別邸清閑亭庭園、掛川城跡の竹の丸庭園、岸和田城跡の五風荘庭園、福山城跡の福寿会館庭園、久留米城跡の石橋徳次郎邸庭園、唐津城跡の高取邸庭園、日出城跡の成清博愛別邸的山荘庭園がある。福山城跡の福寿会館庭園は1930年代、海産物商で削り節の考案者といわれ「鯉節王」と呼ばれた安部和助が別荘を建設し、天守を借景とする池泉庭園を造営したものである。福山大空襲では福山城天守は焼失したが、後に復興し、借景の対象を取り戻している（図10）。

軍関係施設の庭園には名古屋城跡の三の丸庭園、大坂城跡の旧紀州御殿付属庭園、高槻城跡の旧陸軍工兵第四聯隊将校集会所の庭園・同下士官集会所の庭園⁸⁾、広島城跡の広島大本営庭園、久留米城跡の

久留米大本営庭園がある。

国の名勝となっているものは岸和田城跡の重森三玲作の岸和田城庭園（八陣の庭）（図11）、高松城跡披雲閣庭園、県指定文化財は金沢城跡の尾山神社庭園、市指定名勝は五風荘庭園、登録文化財は日出城跡の旧成清博愛別邸庭園（的山荘庭園）である。

11) 公園

公園は98件、全体の17.3（%）であった。

公園と通称されてきても、民有地のまま公開されてきたものであり、近年になって都市計画決定され、制度上は50年を経えていないような場合もあるので、注意が必要である。

公園の開設は太政官布達であった明治6年（1873）が最も早く、高知城跡の高知公園、蓮池城跡の蓮池城公園、臼杵城跡の臼杵公園がある。

著名な設計者とその公園としては、長岡安平が関わった秋田城跡の千秋公園、盛岡城跡の岩手公園、本荘城跡の本荘公園、高知城跡の高知公園があり、本多静六が関わった会津若松城跡の鶴ヶ岡公園、甲府城跡の舞鶴公園、飯山城跡の城山公園、小諸城跡の懐古園、岡崎城跡の岡崎公園、和歌山城跡の和歌山公園、松江城跡の城山公園、徳島城跡の徳島中央公園がある。

本多は和歌山城跡では大正4年（1915）に設計案を立案したが、柵形の撤去や濠の埋め立てなどが地元の反発を買い、実現できた部分は多くはなかった（本書掲載大山論文）。一方、小諸城跡では大正15年（1926）に設計案を、昭和12年（1937）には拡張計画を提出している。拡張計画では城郭本来の性質を尊重し、できるだけ現状を保存することとしている（本書掲載山東論文）。計画通りに実現できた部分とそうではない部分があり、それには地元の関わりもあるため本田の仕事のみを評価するのは容易ではない。たとえ著名な設計者が関わったとしても具体的にどう実現したか、残される遺構はどこか、公園史的にどのような価値があるかなど慎重な評価が必要である。

松江城跡での本多の設計図と現況を見比べると、



図1 郡山城跡の金魚池遺構



図5 愛知県庁舎と名古屋市役所（鈴木智大氏提供）



図2 高槻城跡の旧陸軍工兵第四聯隊門柱と歩哨舎



図6 大坂城跡の教育塔



図3 小田原城跡の小田原第二尋常小学校講堂



図7 松坂城跡の飯南郡図書館



図4 上田城跡の鉄道および駅跡



図8 弘前城跡の武徳殿



図9 松山城跡の萬翠荘



図11 岸和田城跡の岸和田城庭園



図10 福山城跡の福寿会館庭園



図12 松江城跡の天守前広場

それが実現し残されている部分は多くはないようであるが、天守前広場の園路は本多の設計図に近いものである（図12）。

前述したように公園の名勝指定は市指定の2件のみであるため、それらを詳しく見よう。

佐野城跡の城山公園は明治22年（1889）に開設された公園で、昭和36年（1961）6月27日に城山公園として佐野市の名勝に指定されており、同時に佐野城跡として市の史跡にも指定されている。近世城跡が名勝（市指定）となった最も早い事例である。市指定名勝としての説明文には「城山は、明治22年に公園になり、風光明媚をもって知られ、全山桜、つつじ、もみじ、松等におおわれ四季を通じ訪れる人多く、市民の憩いの場として、また散策地として有名である。」とあり、造園設計の観点ではなく景観や植栽市民が親しまれている点が評価されている⁹⁾。

久保田城跡の千秋公園は明治29年に長岡安平の設

計により整備され、秋田県出身の漢学者狩野良知より千秋園として命名されたもので、平成20年3月25日に秋田市の名勝に指定された。「秋田市指定文化財「千秋公園（久保田城跡）」について」¹⁰⁾によると、名勝としての指定理由は「千秋公園は近代公園の先駆者といわれる長岡安平が初期に設計した公園であり、現在でも久保田城の歴史的地割をよく残しながら市民が集う近代公園として鑑賞上の要素が随所に残されている。また、100年以上の歴史をもつ全国の城跡公園、および近代公園のさきがけでもあり、公園史および都市計画史上の学術的な高い価値と風格を持った公園として極めて貴重である。」としている。

今後は公園史研究の進捗により、各地の城跡公園の名勝指定が増えるものと思われる。

12) その他

その他は6件、全体の1.1（%）であった。

分類しがたいものをその他とした。国の重要文化

財となっているものは大日本報徳社大講堂、静岡県指定文化財は大日本報徳社正門である。

4. 国指定史跡に指定されている近世城跡の整備計画における近現代遺構の取り扱いについて

前章までは近世城跡に立地する近現代遺構の分布や保存状況などの概要を見てきたが、ここでは近世城跡の内、国指定史跡になっているものの整備計画等において、これらの遺構がどのように位置づけられているかについて見てみたい。

まず、その前に近年の計画論の変化と、文化財の種類により近現代遺構の価値づけが異なる場合があることを確認しておこう。

(1) 国指定史跡等の計画論の変化

近年、国指定の個々の記念物に関しては保存活用計画の策定が盛んに進められているが、史跡整備に関わる計画手法においては価値評価の視点にも変化が見られるようになってきた。保存活用計画は従前の保存管理計画を平成28年度より内容を改めたものである。保存管理計画の基本的な内容については文化庁文化財部記念物課監修『史跡等整備のてびき』(2005同成社)で、保存活用計画の内容については『史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書』(2015文化庁文化財部記念物課)で示されており、双方で史跡等の本質的価値の明確化と構成要素の特定が求められている。そこで注意を要するのが“遺跡の履歴”、特にその場所が本来の機能を失った後に社会と関わった事象やその物証として残った近現代遺構などの事物の計画における取り扱いである。すなわち、それらの近現代遺構は本質的価値の構成要素以外の構成要素であり、史跡等の保護に有効な要素か有効ではない要素に分類されるのである。

『史跡等整備のてびき』の近世城郭の項¹¹⁾では、廃城後の土地利用形態と整備計画との調整に関して「廃城後に建設され指定地内に含まれる各種の施設等のうち、当該城跡と直接の関係が認められず、史

跡等の本質的価値を構成する諸要素として認定できないものについては、整備計画において積極的に移転または撤去の方針を定めることが必要である。」としつつも、「近世城郭の中には、その本質的価値を表すものではないが、当該城跡に関連して廃城後に藩主を祀った神社が建立されているもののほか、近代に建てられた建造物ですでに文化財的な価値について評価が可能であるものが付加されているものなどがある。」として注意を促している。城跡と密接に関わる施設や既に史跡以外の文化財的価値の認められているものについては特別に配慮を求めているのである。

一方の『史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書』¹²⁾では、「史跡等の本質的価値の評価の視点には、時間の経過とともに進化する部分が含まれている。指定時に価値評価の対象としなかった付加的な事象・事物の中には、その後の調査研究の進展により、史実の新発見又は化学的理論の発展などがあり、新たに本質的価値の評価の対象に加える必要が生じたものも含まれている。」とし、本質的価値の補完に好影響を及ぼすものの中には「時間の経過とともに価値評価の可能性が生まれ、本質的価値を表す諸要素へと移行するものもある。」としている。具体的には、史跡整備という事象の中で厳密な考証を経て、構造や材料まで本来のものに近づけた復元建造物が考えられよう。『報告書』は『てびき』に比べ積極的に遺跡の履歴を評価するようになり、今後の史跡整備においては当該施設の意義の説明や歴史的層性の表現など活用することの重要性が増してきていると考えられるのである。

(2) 文化財の種類による価値づけの違い

ところで、国指定の記念物であっても史跡と名勝では復元建造物の価値づけが異なる場合があることを認識しておく必要がある。例えば特別史跡・特別名勝の鹿苑寺(金閣寺)庭園における景観の主要な構成要素である金閣は昭和25年(1950)に焼失し、5年後に復元されたため、既に50年を経た現在は本質的価値に移行したと言える。しかし、復元当初は

史跡としては本質的価値を帯びてはいないのである。一方、名勝としては重要な景観構成要素を取り戻し、復興当初から鑑賞上の価値を有しているため、庭園にとって金閣は本質的価値の構成要素になるのである。

近世城跡に立地する復興天守という近現代遺構とそれを景観構成要素とした近代庭園で言えば、どうなるだろうか。

岸和田城（大阪府史跡）本丸に位置する、重森三玲作（昭和28年）の国指定名勝岸和田城庭園（八陣の庭）は翌年に竣工した復興天守（RC造）を背景にも視点場の一つにもすることが大きな特徴の枯山水庭園である（図11）。復興天守は構造も本来とは異なり、史実を反映したものでもないため時を経て史跡としては本質的価値の構成要素にはならないが、この庭園にとっては本質的価値の構成要素である。

また、前述した福山城跡（国史跡）の福寿会館庭園（未指定）は昭和10代の作庭当初は天守（旧国宝）を借景としていたが、天守が空襲で焼失、昭和41年（1966）に本来の外観に近い形で復興された。こちらの復興天守（RC造）も（庭園が名勝になるなら）庭園にとっては復興時から本質的価値の構成要素である。庭園の場合は芸術上・鑑賞上の価値が重要となるため、本質的価値の構成要素となる天守が必ずしも歴史的・学術的な価値を帯びている必要はないのである。

記念物でも史跡と名勝では価値付けの基準が異なるため、こうした庭園の借景として天守がある場合、復興天守の価値づけも異なることになるのである。

（3）国指定史跡の近世城跡整備計画における近現代遺構の取り扱いについて

近世城跡の史跡としての保存管理計画書や保存活用計画書、あるいは整備基本計画書等の整備計画の中で近現代遺構がどのように扱われているかを具体的に見てみた。いずれの計画や実施の状況も所有者の意向や公有化の条件、都市戦略上の位置づけ、首長の意向、自治体の財政状況など現実的な状況の中

で計画・実施されているものであり、それ自体を批判しようという意図はないことは先に述べておこう。

内容的には概ね、1) 撤去型、2) 存置型、3) 共存型、4) 積極的位置づけ型に大別できたので、それぞれについて事例を見てみよう。

1) 撤去型

①高松城跡の玉藻廟

高松城跡の内曲輪は明治23年（1890）に旧藩主の松平家に払い下げとなった。玉藻廟は本丸の天守台に高松松平家第11代当主松平頼聰が松平家鎮守の廟として高松藩祖松平頼重を祀り、明治35年（1902）に完成したものである。第12代当主松平頼壽は先代頼聰を合祀して、代々の御霊を祭神とした。昭和19年（1944）、戦火が及ぶことを懸念し、御神体を屋島南麓の屋島神社に遷して以後、玉藻廟は空き家状態になり戦後は荒廃した。昭和31年（1956）には東の丸に新玉藻廟が完成し、ここへ御神体を遷し、玉藻廟と関連施設は高松市に寄贈されていた¹³⁾。平成8年の『史跡高松城跡保存整備基本計画』¹⁴⁾では「整備に際して城跡景観にそぐわない神社建築物並びに鳥居、狛犬、手水舎、灯籠、階段の関連施設は城外移転するとともに、外来植物も移植する。」としている。そして、玉藻廟は虫害や風雨による破損が著しく移築保存は困難との判断がなされ、記録保存後の平成18年に解体となった。撤去は建物の物理的状態が大きく影響したのであるが、藩主を祀る神社は城跡にはそぐわないとの判断がなされていたのである。

②松前城跡の松前神社

昭和50年度策定の史跡松前城跡の保存管理計画¹⁵⁾では、原則として本丸二の丸地域内の城跡遺構に関係のない建造物・工作物は撤去するとしているが、「松前神社社殿および社務所は現状保存する。（松前神社は松前藩祖武田信広を祀り、明治14年（1881）以降現地に建立されたものである。従って福山城とは直接関連をもつものではないが、地方住民の崇敬が厚く、精神的な結び付きも強いので、第1次計画

においては現状保存することとし、充分検討した上で、第2次計画に反映させる。）」としており、明治以降に立地した施設でも長い歴史があることに配慮を見せていた。ところが、平成8年度策定の史跡福山城跡の保存管理計画¹⁶⁾では、「現在の松前神社は、鎮座後すでに100余年を経ているが、神社境内と城跡の復元整備計画との調整が必要であり、社地の整備への協力を今後とも求めていく。」とした。さらに、平成28年度策定の『史跡松前氏城跡福山城跡保存活用計画書』¹⁷⁾では、「地元の崇敬を集めている神社であるが、城郭とは直接関係のない施設であることから、建て替えの時期には、関係者の理解と協力を得て史跡外への移転を図る。将来的には本丸にふさわしい庭園の再現を目指すものとする。」としている。神社の立地が昭和36年(1961)に鉄筋コンクリートで再建された天守に近く、本丸庭園の心字池に位置しているため、城跡の復元整備の中で土地利用の調整が必要になってきているようである。

③上田城跡の上田市民会館

平成3年策定の『史跡上田城跡整備基本計画』¹⁸⁾では、移転対象施設として昭和40年建設の上田市民会館(石本喜久治設計)が上げられ、現在撤去工事が進められている。

④会津若松城跡の武徳殿

平成6年策定の『史跡会津若松城跡保存整備のあり方について』¹⁹⁾において、会津若松城跡の史跡環境の保全・既存施設の見直しの項では「史跡全域及び周囲の環境は、各遺構が立地した往時の環境に地形や植生を復元することに努める。従って江戸時代末期の植生等について今後研究を行うものとする。また、史跡のイメージとしては、古さ、落ち着き、静かさなどが歴史を回想する場として否めない条件であり、植栽や既存樹木の保全を中心とした史跡全体のイメージづくりに配慮する。なお、都市公園施設との整合を図り、文化財保護、史跡環境整備の見地から既存の施設の見直しを行う。」とし、「史跡環境、風致等への支障となる武徳殿、弓道場、テニスコート、駐車場等を見直し、建設中の総合運動

公園等との調整を図る。」としている。城跡の中の運動公園的な施設はイメージに合わないため移転させようとしており、その中で武徳殿も移転の対象になっていたのである。その内容は平成9年の『史跡若松城跡総合整備計画書』²⁰⁾へも引き継がれている。

⑤和歌山城跡の配水池

平成5年策定の『史跡和歌山城跡保存管理計画書』²¹⁾で、本丸御殿跡に立地する配水池に関しては、本丸御殿を取り上げる中で、「旧本丸には市水道局の配水池があり、現在も運用されているが、本丸御殿の資料は台所棟の遺構(市内光恩寺庫裏として現存)があるほか、平面資料(「御城内惣御絵図」)もあり、推定復元なら可能である。配水池の撤去が可能になれば、復元したほうが良からう。」としており、復元的な整備のための条件を整えば配水池を撤去するものと見られる。また、昭和33年(1958)完成の天守閣については、コンクリートの劣化により老朽化していることを指摘し、撤去かどうかは言及がないが、再建時には木造による復元計画の必要性を述べている。全体として本丸部分では復元的な整備を目指しているようであり、配水池に対しては配慮はされていない。まず、歴史的な調査と評価が必要であろう。

⑥山形城跡の山形市郷土館

平成24年策定の『山形城跡保存管理計画』²²⁾では、城下町に造られた病院建築で昭和44年(1969)に城跡内に移築されている山形市郷土館(重要文化財旧済世館本館、明治11年竣工)については史跡の保護にとって有効でない要素と位置づけ、「次期解体修理時期にあわせて移転先の検討を行う。」としている。

2) 存置型

①松阪城跡の鈴屋遺蹟保存会事務所

松阪城跡の本居宣長旧宅(鈴屋)は、宣長の祖父が元禄4年(1691)松坂城下の職人町に建てたもので、宣長の子孫が明治になっても居住していたが、明治38年(1905)、宣長に従三位が追贈されると保存の気運が高まった。明治期に城下から出火した大

火の経験から、明治天皇の下賜金を原資に鈴屋遺蹟保存会が設立され、これを町屋地区から安全な城内に移築したものである。平成24年策定の『松阪城跡保存管理計画書』²³⁾においては、「既に移築後100余年を経て市民権を得ている点等を考慮し、庭園とともに施設としての現状を当面維持・保全する。」としており、本居宣長旧宅の維持管理のために同年に建てられた鈴屋遺蹟保存会事務所についても「特別史跡本居宣長旧宅の移築にともない、鈴屋遺蹟保存会事務所として建築された歴史的経緯をもつもので、市民権を得た建物や工作物であることから、建物の現状を当面維持・保全する。」としている。

②弘前城跡の市立図書館・市民会館

平成元年策定の『史跡津軽氏城跡（堀越城跡・弘前城跡）保存管理計画策定報告書』²⁴⁾では、弘前城跡三の丸に立地する「市民広場周辺のテニスコート、市立図書館、市民会館については、将来城内から撤去する。さらに市立博物館も城内のいずれかに（四の丸を予定）移転し、市民広場を拡張整備する。」としているが、平成17年度の保存管理計画²⁵⁾では「市民広場周辺の市民会館や市立博物館、テニスコートは市民生活に浸透している施設であり、将来において移転を検討しなければならないが、当分の間はそのまま使用する。将来的には、移転後の整備計画について検討していく。」としており、ややトーンを下げている。このことは市民会館と市立博物館が前川國男の作品で歳月の経過と共に評価されてきたことと関係するようと思われる。

前川國男は昭和3年（1928）に東京帝国大学を卒業し、20世紀を代表する建築家であるフランスのル・コルビュジェに師事し、2年後の昭和5年に帰国した。当時、日本に事務所があったアントニン・レーモンドの下で働き、影響を受けた。弘前市内、特に城跡とその周囲には前川國男の建築作品が8ヶ所現存する。弘前市民会館は昭和39年（1964）竣工、前川國男59歳の時の作品である。弘前市立博物館は昭和51年（1976）竣工、前川國男71歳の時の作品である。後者は築41年であるが、ともに平成8年には

第6回BELCA賞ロングライフ部門を受賞、平成26年には弘前市景観重要建造物に指定されている。なお、三の丸には弘前市緑の相談所があり、こちらは昭和55年竣工、前川國男75歳の時の作品である。

時間の経過とともに建物の評価が変化しており、保存運動も起きている。撤去を念頭にしているが、取り扱い方針の決定を急がずにその状況を見守っているように見える。

3) 共存型

①上田城跡の眞田神社

上田城跡に関する平成3年の『史跡上田城跡整備基本計画』では、移転方策の検討としては眞田神社、上田招魂社があげられていた²⁶⁾。その後の平成23年度改訂版『史跡上田城跡保存管理計画書・史跡上田城跡整備基本計画書』においては、「眞田神社は史跡の保存活用に寄与している現状を踏まえ、お互いの緊密な連携のもと、共存を図っていくものとします。」²⁷⁾とし、城跡の整備を進めようとする上田市側の方向転換が図られた。その背景には近現代における城跡の保護に眞田神社（図13）の関わりが大きかったという歴史的な認識が形成されたことがある。その具体的内容は次に示す通りである²⁸⁾。

眞田神社の前身である松平神社は、明治12年以降本丸下の段に遷座し、本丸を公園に転換する主導的な役割を果たすとともに、本丸一帯を管理し良好な環境を維持しました。その後、公園となった区域を上田市に寄付したことにより、二の丸を含めて市が公園を整備する契機を



図13 上田城跡の眞田神社

作りました。廃城となった城郭が数多いなかで、こうした一連の経過は土地の寄付者である丸山平八郎真義らの功績と合わせて上田城跡の近代以降の歴史を考える上で最も特徴的な史実です。これまで真田神社とは移転対象施設の取り扱いにおいて認識の行き違いがありましたが、保存管理や整備事業において神社活動に制限を設けることはありません。

真田神社の参詣者は櫓や博物館の見学者となる場合も多く、建造物の少ない上田城跡の現状において集客の上で真田神社が果たしている役割を見過ごせません。今後の整備については史実に忠実な整備を進めるという観点を基本としますが、双方の立場を尊重し連携しながら課題解決を図ることが最重要と考えます。文化財保護の視点からは将来的な移転等についても課題の一つと認識しますが、現実的にはこれまでに真田神社が上田城跡の保存に対して果たしてきた歴史的役割を評価し、また、現在も集客上大きな役割を果たしていることを考慮し、城郭の本質的価値と真田神社との共存・調和を図ることが適切であると考えます。

真田神社は上田城跡の本丸に位置し、公園になる上でも重要な役割を果たし、現在も上田城跡の魅力の一つになっていることを評価するようになっているのである。

②小田原城跡の旧小田原町立図書館

史跡小田原城跡では小田原市が昭和57年（1982）に策定した『史跡小田原城跡整備の理念と方針』においてその保存と活用を謳い、城内の施設移転と史跡整備を進めてきた。

小田原城跡の馬屋曲輪にはガイドの詰所などとして利用されてきた旧小田原町立図書館（昭和9年竣工）があり、平成15年度策定の『史跡小田原城跡馬屋曲輪保存整備基本計画』²⁹⁾においては史跡保存、歴史的環境保存の見地から移転もしくは撤去の推進を図るとしている。隣接する二の丸には旧城内小学校講堂（昭和4年竣工、図3）を利用した小田原城

歴史見聞館（将来的には移転もしくは廃止と位置づけられている）があり、ともに三の丸から二の丸を経て、本丸へ至る大手筋の途中に位置し、ガイダンスや管理の機能を担ってきた。

馬屋曲輪は通称『宮内庁図』の馬屋曲輪部分の図で馬屋と大腰掛が描かれ、それぞれ「長貳拾壹間幅三間半」、「長拾貳間半」と記されている。この絵図の時期は元禄10-16年（1697-1703）の間のもので推定されており、各時代の多数の絵図をみても唯一建物が確認されるものである。遺構表現の時期については江戸末期を基本としているが、曲輪内の内部施設については変遷が認められることから曲輪の使用形態の特色を示す上で有効とし整備するとしている。このため復元的な建物にこれらの機能を入れる案が取りまとめられたが、そうした建物を設けること自体に異論も出されたため、馬屋跡・大腰掛跡については平面表示をすることになった。旧小田原町立図書館については、発掘調査成果により馬屋跡の表示と一部が重なることとなり、「当初、撤去することも考えられたが、城内のガイド機能を有することや、建物が城内に2棟しか残っていない（近代の：筆者注）建物であるという歴史的・文化財的価値を有すること等から、当面はこれまで通りに使用する整備方針を定めた。」という。

このように馬屋曲輪の旧小田原町立図書館について現段階では、藩政期の建物遺構とわずかに重なるが、後者を平面表示することにより前者を原位置で保存活用することとなったのである（図14）。写真



図14 小田原城跡の旧小田原町立図書館

の建物と平行する通路状の舗装部分が遺構表示である。

4) 積極的位置づけ型

①篠山城跡の青山神社

史跡篠山城跡本丸の青山神社については、平成11年策定の『史跡篠山城跡整備基本構想』では「青山神社社殿及び付属の施設、城主の石碑2基については青山神社氏子並びに関係者の御理解を得て城外へ移転を推進する。」³⁰⁾としており、同年度には青山神社社務所が解体されている。

一方、平成24年策定の『史跡篠山城跡保存管理計画』³¹⁾では本質的価値を支える諸要素すなわち本質的価値に準ずる要素として、昭和19年焼失、平成12年復元した大書院の他に、青山神社と篠山市立篠山小学校講堂を上げて次のように説明している。

青山神社は「明治15年（1882）に旧篠山藩士により城跡本丸内に建立された130年に及ぶ歴史を有する神社で、旧藩主青山家の遠祖青山忠俊及び青山忠裕を祭神とする。藩士の忠誠心を伝える貴重な資産で、社殿は大正5年（1916）に改築し、現在に至る」とし、さらに「篠山藩の歴史を伝える資産として価値が高い」として評価を変えているのである。

もう一方の篠山小学校については次のように記す。

篠山小学校は明治6年（1875）4月20日に知新館として魚屋町誓願寺内に開校し、明治8年（1875）に篠山城二の丸の大書院へ移転して篠山小学校と改称した、城内で130年以上の歴史を有する小学校である。

旧藩士の有志が旧藩主青山忠誠の意志に基づき設立した私立篠山中年学舎（後の私立鳳鳴義塾、現在の県立篠山鳳鳴高等学校）等とともに城跡内に開校し、人材育成に力を注いだ青山藩の教育精神を明治以降に引き継いだ教育施設である。篠山地区の住民は何代にもわたりこの城跡の小学校に通って地域の歴史文化を肌で感じ学んできた事実を踏まえると、城跡が住民の心よりどころとなってきたことから、現在そし

てこれからの篠山を担う人々を育んだ重要な施設と言える。

明治43年（1910）に三の丸東側に新校舎が完成し、昭和26～30年（1951-1955）にかけて木造校舎の改築を行い現在に至る。講堂は、町内外からの寄付によって昭和10年（1935）に竣工した鉄骨木造の建造物で、兵庫県近代化遺産一覧に掲載されている。

篠山小学校は明治8年には篠山城跡に立地した伝統ある小学校であり、地域の教育文化の拠点として機能し、地域社会に親しまれ馴染んだ実績があり、それに伴い残された事物（建造物）も文化財的価値を有するため、まちづくり資産として活かそうというのである。

②高遠城跡の高遠閣

高遠城跡の高遠城址公園内の集会所として建てられた高遠閣（登録文化財）については、昭和62年策定の『史跡高遠城跡保存管理計画』と同様に平成12年策定の『史跡高遠城跡整備基本計画書』³²⁾でも現在の位置で歴史的建造物として保存、活用を図るとしており、平成15-16年度には実際に改修工事が行われた³³⁾。

③広島城跡の大本営跡等旧軍関連遺構

平成元年の『史跡広島城跡整備基本計画書』³⁴⁾の整備の目標の中で次のように述べている。

広島城跡は、無論城郭の遺構として広島市の都市の起源や武家社会の歴史・文化を学習・体験できる数少ない貴重な歴史的遺産であり、文化財でもある。同時に広島城跡は、明治以降の軍都の中心としての経緯もあり、現在においても大本営跡等の旧軍関連の遺構が存在している。このうち大本営跡については、近代以降の広島を歴史を理解する上で、必要不可欠なものであり、国際平和文化都市をめざす広島市にとって、歴史に刻み、継承する重要な意味を有している。また、ゾーン計画においては次のように記す。

本丸上の段は、天守閣の足元に当たるとともに、御殿をはじめとした建物が建ち並び、城郭

の中心として、さらに、領国経営の拠点として重要な位置づけにあった。また、城郭としての役割を終えた後も、明治27年（1894）には日清戦争に伴って大本営が設置されるなど、軍事上の中心的役割を果たしていた。

このように本丸上段は、2つの性格を異にする「中心」が位置した経緯を有しており、その事実を意識できるよう、天守閣をはじめとした城郭建造物や御殿跡等の遺構とともに、大本営跡及びそれに関連する遺構の存在を示す整備が重要となる。そして、性格を異にした遺構を整備するに際しては、本来の姿である城跡としての整備を“主”とする中で、両者のバランスを図り、城跡の中心性と城跡のたどった歴史の変遷を意識できる重厚な空間とする必要がある。

江戸時代中後期の『御城指図』を見ると大本営跡は本丸御殿跡のほぼ中央部に位置しており、周辺では御殿跡等の遺構表示も計画されている。

④大坂城跡の大阪城天守閣・旧大阪砲兵工廠関連遺構

平成25年の『特別史跡大坂城跡保存管理計画』³⁵⁾では、特別史跡大坂城の特徴を次のように三つにまとめている。

（1）特別史跡としての価値

- ①世界に誇る築城技術－築城技術の到達点を示す石垣と、縄張りの優秀性
- ②現存建物遺構の希少性・貴重性



図15 大坂城跡の大阪城天守閣

③地下に良好に保存された遺構群－本丸等で確認された豊臣時代の石垣や徳川期遺構。

（2）歴史の重層性

（3）近代以降の大坂城の歴史を特徴づける文化遺産群

①市民の城として親しまれてきた大阪城天守閣

②軍事的拠点としての大坂城を表徴する施設群

③近代都市化の歴史を刻む施設群

特別史跡大坂城を構成する諸要素としては、大坂城特有の価値を構成する諸要素とその他の諸要素に大別し、前者は特別史跡の本質的価値を構成する諸要素と、近代以降の大坂城特有の歴史的価値を構成する諸要素としている。すなわち、（3）の①～③の要素である、大阪城天守閣（図15）、旧大阪砲兵工廠関連（旧化学分析場、表門と塀、守衛舎、旧第四師団司令部（旧大阪市立博物館）、防空壕、旧兵器支廠門と塀、配水池（配水管等含む）、配水場、旧紀州御殿付庭園）を特別史跡大坂城跡の価値として位置づけているのである。

⑤盛岡城跡の岩手公園

平成25年策定の『史跡盛岡城跡整備基本計画』³⁶⁾では盛岡城跡の最大の特性として、「近世城郭としての歴史的価値とともに、明治以後に付加された文化的価値が複合していることがあげられる。明治時代に長岡安平の設計により、岩手公園として整備され、新しい盛岡の名所として市民に親しまれ、石川啄木、宮沢賢治の作品の舞台もなっている。つまり、近世には盛岡の政治行政の中心である「城」として、近代以降は「城跡」でありまた「公園」として、盛岡の歴史的文化的価値の象徴としての歴史を積み重ねてきたといえる。」として、次のように整理している。（1.は項目のみ、2.は少し長いが近代の公園との関係を考える上で示唆に富むので引用した。）

1. 近世城郭としての特色

a. 東北有数の総石垣造りの城

- b. 連郭式と回郭式を組み合わせた縄張り
- c. 特色的な建物配置
- d. 船入、筋違橋など北上古川に設置された特異な施設

2. 近代公園としての文化的特色

明治時代の公園整備により盛岡城跡は、一般市民や県民が憩うための公園として再生された。公園の設計にあたった長岡安平は、明治時代から大正初期の公園設計の第一人者であり、飛鳥山公園や向島百花園の改修等、数多くの公園や街路の計画や設計、改修にあたった我が国のランドスケープデザインのパイオニア的存在であった。

公園設計にあたっては、地域の自然や特色を活かすことを要諦としており、公園整備に伴う南部家と岩手県との貸借契約書において、「城跡の保存」を重んじることが明記されていたこともあり、城跡の遺構を活かしながら近代的な機能を備えた公園整備が行われた。

現在残されている図面および写真から、公園の設計にあたっては以下の点に配慮が払われたことが考えられる。

a. 曲輪の広がりを活かした広場整備

曲輪の空間的な広がりを活かして、公園的な緑地広場の整備を行っている。特に台所は運動場として利用できるよう、園路等も設けずに平場をそのまま一つの大きな広場としている。二ノ丸や本丸も公園として必要な最小限の園路の設置や、緑陰・点景とする樹木を植栽しながら、緑地広場としての整備を行っている。

b. 遺構・眺望を活かした環境整備

内堀を鶴ヶ池として整備し親水空間とする、烏帽子岩と時雨の松を活かして日本庭園風の修景を行う等、城の遺構を巧みに活かした景観整備を行っている。また、岩手山や中津川の眺望を楽しめる場所を中心に、四阿を設置している。

c. 季節の風致を楽しめる植栽整備

ウメ、サクラ、モミジ等、城跡の歴史的な景観に合う樹木を植栽し、季節の風致を楽しむことができる公園としている。また、台所には花壇を設けて近代公園的な設えで花を楽しむ空間を提供している。

d. 新たなモニュメントの創出

三重櫓など近世城郭を象徴した建物に代わり、明治期には南部中尉騎馬像を岩手公園の新たなモニュメントとなるような整備を行っている。二ノ丸側の入り口からも腰曲輪側からの入り口からも、南部中尉騎馬像がまず視界に入るように配慮したことが、古写真からうかがえる。

なお、以上のような評価があげられる反面、虎口、土塁、大書院跡の地形等が改変されたほか、動線上の利便性を高めるため、石垣の一部を改変して石階段の新設等が行われている。

このように明治末期の岩手公園の造成が近世城跡を破壊した部分があることは認めつつも、当時の公園造成の意義を近世城郭としての価値と同等に評価しているのである。

⑥水戸城跡の旧弘道館復元建物

水戸藩の藩校跡、旧弘道館は水戸城三の丸に位置する。特別史跡としての整備の中で、昭和28年(1953)に八卦堂(図16)、昭和37年(1962)に通用門、国老詰所、政庁の便所・湯殿、至誠堂の便所、井戸屋



図16 水戸城跡旧弘道館の八卦堂(弘道館事務所提供)

形、昭和45年（1970）に孔子廟、昭和47年に孔子廟土塀の復元を図ってきた。平成29年策定の『国指定特別史跡「旧弘道館」保存活用計画書』³⁷⁾ではこれらの復元施設を「本質的価値に密接に関わる諸要素（後に復元または姿が変わった施設等）」に位置づけられている。その保存管理の方法については重要文化財建造物や史跡の構成要素の歴史的建造物とともに「本計画に基づき別途作成する建造物の保存活用計画に基づき保存管理を行う」としている。

（4）小結

様々な対応

本章では、国指定史跡の近世城跡における近現代遺構の取り扱いをいくつかの事例から見てきた。ここで取り上げた各地の城跡では保存管理計画や保存活用計画などで近現代遺構の取り扱いの方針を追跡できたが、これは一定の期間ごとにその見直しを図っているからこそできることであり、その意味で適切なマネジメントが行われている事例と言えよう。繰り返しになるが、文章にはなっていない様々な状況も含め、選択された結果のみを見て批判するつもりなどはない。

具体的に見ると、城跡が公園として利用される中で設けられた市民会館や野球場など大規模施設は撤去の対象になるものがあつた。なお、運動施設でも武徳殿については撤去か転用か対応が分かれた。史跡指定前に城下から移築された歴史的建造物を有する城跡では、その適所への再移築が望まれている。

旧藩主を祀る神社では、既に撤去された高松城跡（城内移転で機能は継続している）や、城跡の復元的な整備の関係で支障とならない史跡指定地外への移転を検討している松前城跡、移転を計画していたが近代以降の歴史的な認識を改めることによって共存を図る方針となった上田城跡、近年になって積極的に近代の変容を位置づけた篠山城跡など、その対応は様々である。

全般的に見ると、近年作成の史跡の保存活用計画書等は近代における神社の立地、軍関係施設や公園などによる変容を肯定的に捉えるようになってきて

いる。

土地利用・施設の適正化

近世城跡の史跡整備事業や公園整備事業の中では土地利用あるいは立地する施設の適正化が行われ、そこに立地した近代建築遺構の撤去に関して、過去にはその保存運動が起きている。江戸城跡の旧近衛師団司令部庁舎、大坂城跡の旧砲兵工廠化学分析場、赤穂城跡の兵庫県立赤穂高等学校校舎などであり、残されて重要文化財になったものもあれば撤去されたものもある。平成7年の報告で、「史跡整備はある史観や風景観によって環境を操作することを伴うが、歴史的な評価が定まらない中に歴史情報の証言者である遺構を整理することが問題であろう。逆に、整備する側にとっては証言者が歴史的価値を帯びない内に整理することが緊急の課題と成り得る訳である。」と記した。近現代の遺跡の履歴のすべてを肯定的に評価し、残すのが良いと言うのではない。

計画論の変化

平成7年の報告では「これらの施設はそのもの自体の学術的価値だけでなく、城跡の土地利用の歴史的変遷および都市史における役割や地域との関わりを評価した上でその取り扱いを決めるべきであろう。」とし、近世城跡の近現代遺構についてもその思いは変わらない。そして、「城跡に立地する近代建築遺構の保存にあたっては城跡の環境に調和し双方が共存できる保存修景手法を用いて現位置での保存に努めることが望まれよう。そのためには、近世城跡を近世城郭の遺構としてのみ捉えるのではなく、近代建築遺構をも伴った近代化の遺構として捉えた動的な史跡概念も必要になると思われる。」とも記した。史跡の概念は変わらないように思えるが、幸い近年は史跡等整備の計画論は上で見た通り進化しているのである。このため史跡指定の有無に関わらず、いずれの近世城跡でも新たな歴史認識や視点に基づく保存活用計画の策定が必要である。城跡あるいは城下町の近現代史の研究の進展が城跡の本質的価値の構成要素以外の構成要素、すなわち近世城跡に立地する近現代遺構の評価に関わることになる

う。

近世城跡は近世城郭の跡に近現代の施設が立地し重層しているだけでなく、史観や風景観など様々な観点からの価値観も重層している。文化財でも種類によって価値づけの観点も異なる通りである。最新の歴史学や、建築学、造園学等の成果を判断材料の一つとして活用しなければならないと思うのである。

土地利用・施設の適正化後の問題

土地利用あるいは施設の適正化に関わる事業が実施される中で史跡の長期的なマネジメントの観点から重要な事柄と思われる指摘があるので紹介する。

篠山城跡³⁸⁾では保存管理計画や整備基本構想に基づいて、石垣等の保存修理、城内施設の城外移転、土地の公有化、大書院の復元等に取り組み、将来的に可能な範囲で往時の姿に近づけることを目標としてきた。史跡の保存・整備に係わる課題として、「城内施設等の城外移転を急激に進めた反面で整備のスピードが追いつかず、未活用の空間が広がるなど、往時と異なる土地利用や空間構成が生じ、来訪者に城の姿が伝わりにくい課題が生じている。また、城外移転が完了していない城内施設の中には、近代以降長く地域住民に親しまれてきた「歴史文化まちづくり資産」が存在するなど、これらの扱いにも検討が必要である。」としている。

城内の歴史文化まちづくり資源とは、①旧藩主青山家の遠祖、青山忠俊及び青山家中興の藩主と称される青山忠裕を祭神とした青山神社、②明治六年に城下で知新館として開学し、明治八年に二ノ丸の大書院へ移転し篠山小学校と称し、明治43年（1910）に三の丸の新校舎へ移転、そこで昭和10年（1935）に建てられた講堂、等の近現代遺構が上げられている。

これに関係して史跡の活用に係わる課題としては、「城内施設の城外移転が進んだことで、市民が日常的に城に接する機会が減少し、「お城が遠くなった」という声に表されるように、城跡が地域の拠り所としての機能を喪失しつつある。」と指摘し

ている。

すなわち、史跡として城跡の価値の顕在化に努め、城跡を藩政期の姿に近づけてきたのであるが、近代以降の施設が地域に親しまれており、撤去してもその跡地は管理できず地域から乖離してしまうと言うのである。実情に合わせた綿密な実施計画も必要なのであろう。

近現代遺構の活用

一方、残した近現代遺構はどうするのか。平成7年には「近代建築遺構を保存し活用した整備によって、近世城跡に新たな魅力を加えることができるのである。」としたが、城跡の整備を城郭の復元的整備だけではなく、城跡に立地した近代建築の保存と活用により重層的な歴史を感じさせるまちづくりを行う自治体もある。名古屋城三の丸跡には天守と呼応した帝冠様式の県庁舎や市庁舎が立地し、城跡に隣接する旧名古屋控訴院も合わせ、いずれも重要文化財に指定されているが、名古屋市は名古屋城周辺の他の近代建築について景観法による景観重要建造物や都市景観条例による都市景観重要建造物に指定するなどし、旧城下町の歴史遺産の保存活用によるまちづくりを行っている（本書掲載松田報告）。また、尼崎城跡は近現代に進んだ市街地の中で痕跡も不鮮明な程になっていたが、城跡には近代以降、まちの中心として栄えた歴史とそれを伝える近代建築物が残されてきた。このため尼崎市はそれを活かしたまちづくりを行なっている（本書掲載益田報告）。他にも弘前城跡などの城内や城下にも近現代遺構があり、城下町の近現代をテーマに一体的な保存や活用を図れる可能性がある。

表1に記した近現代遺構については文化財や景観資源など様々な観点から評価し、まちづくり等の資産として脈絡のある活用ができないか、文化庁が推奨している歴史文化基本構想の中で検討されることが望ましい。

5. おわりに

本報告では近世城跡が近現代に様々に利用された

結果残された近現代遺構を取り上げたが、土地利用およびその変遷についての価値づけには触れられなかった。

具体的には、近代以降も存城として軍用地として引き継がれた城跡は先の大戦での敗戦により初めて廃城となり（本書掲載森山報告）、その「旧軍用地という膨大なストックは、戦後の都市計画、特に官庁施設、教育施設、公園などの整備に大きな影響をもたらした。」³⁹⁾という。こうした戦後の都市計画に関わる土地利用そのものの価値づけや公園行政が残したもの等についてである。

また、篠山小学校のように明治以降地域で親しまれてきた学校施設の土地利用のあり方も課題である。

他日を期したい。

【注および参考文献】

- 1) 拙稿「近世城跡に立地する近代建築遺構について」『文化財論叢Ⅱ』奈良文化財研究所創立40周年記念論文集 同朋舎出版 1995 pp.691-709
- 2) 拙稿「近世城跡に立地する近代建築遺構一覧」『図説日本城郭大事典3』日本図書センター 2000 pp.186-189
- 3) 森山英一『明治維新 廃城一覧』新人物往来社 1989、森山英一『城』第一巻～第八巻 毎日新聞社 1997、日本図書センター編『図説日本城郭大事典』2000、森山英一『日本城郭史話』新人物往来社1999
- 4) 『日本近代建築総覧』日本建築学会編 技報堂出版 1989
- 5) 『近代の公園・庭園等に関する調査研究報告書』近代の公園・庭園等の調査に関する検討会 文化庁文化財部記念物課平成24年6月 文化庁文化財部記念物課
- 6) 児玉幸多・坪井清足監修『日本城郭体系』1980新人物往来社
- 7) 荻野基行「明治期の群馬県藤岡地区におけるキリスト教と養蚕の関係 - 緑野教会と高山社蚕業学校を中心に -」東京福祉大学大学院紀要第一巻第一号 2010 p.83-93
- 8) 中西裕樹氏ご教示による。千田康治「高槻工兵隊に移築された大阪城の「元御金蔵」について」『しろあとだより』第11号 高槻市しろあと歴史館 2015.10
- 9) 指定文については佐野市文化財課の湯沢氏より提供を受けた。
- 10) 指定文については秋田市文化財課の根岸氏より提供を受けた。
- 11) 文化庁文化財部記念物課監修『史跡等整備のてびき』2005同成社 p.171、p.176
- 12) 文化庁文化財部記念物課『史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書』2015 p.27
- 13) 『玉藻廟解体・記録保存調査報告書』史跡高松城跡整備報告書第3冊 2008 高松市・高松市教育委員会 p.1、p.10
- 14) 『史跡高松城跡保存整備基本計画』平成8年3月高松市 p.45
- 15) 『昭和50年度策定 史跡松前城跡保存管理計画』松前町 昭和54年 p.35-36
- 16) 『史跡福山城 平成8年度策定 保存管理計画書』1997.3 北海道松前町 p.24
- 17) 『史跡松前氏城跡福山城跡保存活用計画書』平成29年3月北海道松前町 p.144
- 18) 『史跡上田城跡整備基本計画』平成3年3月 上田市教育委員会 p.64
- 19) 『史跡会津若松城跡保存整備のあり方について』平成6年2月 会津若松市教育委員会 p.37
- 20) 『史跡若松城跡総合整備計画書』平成9年(1997) 会津若松市
- 21) 『史跡和歌山城跡保存管理計画書』和歌山市経済労働部和歌山城管理事務所 平成5年3月31日
- 22) 『山形城跡保存管理計画』平成24年3月 山形市教育2員会 p.62、p.144
- 23) 『松阪城跡保存管理計画書』平成24年3月 松阪市 p.109-110
- 24) 『史跡津軽氏城跡（堀越城跡・弘前城跡）保存管理計画策定報告書』弘前市教育委員会 平成元年 p.66
- 25) 『史跡津軽氏城跡保存管理計画策定報告書』弘前市教育委員会 平成17年度 文化庁青森県教育委員会弘前市 弘前市教育委員会 p.47
- 26) 『史跡上田城跡整備基本計画』平成3年3月 上田市教育委員会 p.64
- 27) 『史跡上田城跡保存管理計画書・史跡上田城跡整備基本画書』平成24年3月 p.74
- 28) 『史跡上田城跡保存管理計画書・史跡上田城跡整備基本画書』平成24年3月 p.77-78
- 29) 『史跡小田原城跡馬屋曲輪』史跡小田原城跡整備事業報告書2 2014 小田原市教育委員会 p.13、p.181、p.183、pp.219-224
- 30) 『史跡篠山城跡整備基本構想』平成11年3月 篠山町教育委員会 p.11
- 31) 『史跡篠山城跡保存管理計画』平成24年3月 篠山市教育委員会 p.104-105、p.110
- 32) 『史跡高遠城跡整備基本計画書』平成12年3月 高遠町 p.60

- 33) 『史跡高遠城跡整備実施計画書』平成17年3月 高遠町 p.25
- 34) 『史跡広島城跡整備基本計画書』1989.3 広島市教育委員会 p.22、p.33、p.36、p.158
- 35) 『特別史跡大坂城跡保存管理計画』平成25年3月 大阪市 p.52-57
- 36) 『史跡盛岡城跡整備基本計画』平成25年3月 盛岡市 p.66-67
- 37) 『国指定特別史跡「旧弘道館」保存活用計画書』平成29年3月 茨城県
- 38) 『史跡篠山城跡保存管理計画』平成24年3月 篠山市教育委員会 p.57、p.92、p.93
- 39) 三宅醇・西澤泰彦・大塚毅彦『旧軍用地および軍施設ストックが都市形成に果たした役割に関する研究』1997 第一住宅建設協会

【謝辞】

本報告の作成にあたっては奈良文化財研究所客員研究員であった福嶋啓人氏（現・奈良文化財研究所研究員）に建造物関係のデータ収集を依頼し、丁寧なデータ整理をして頂いた。関係自治体の方にはご多忙にも関わらず、問い合わせに対するご返答やデータの提供を頂いた。この場を借りて御礼申し上げたい。